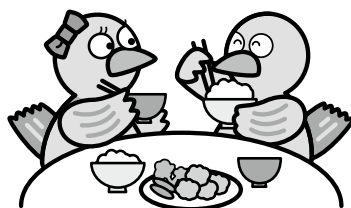


IV くらしと生活環境

項 目	データ	全国順位
(家計) 2人以上の世帯・勤労者世帯		
実収入	492,486円/月	10
消費支出	326,503円/月	21
貯蓄現在高	12,426千円	19
(生活環境)		
持ち家に住む一般世帯割合	66.3%	30
共同住宅に住む一般世帯割合	41.7%	10
着工新設住宅戸数	55,368戸	4
通勤・通学時間	42分	2
教養娯楽費(2人以上の世帯・勤労者世帯)	38,607円	6
国内観光旅行の行動者率	56.1%	3
日本人出国者数	985,091人	6
一般旅券発行数	258,672件	5
図書館数	157館	2
都市公園数	4,564か所	8
道路実延長	46,558.8km	5
水道普及率	99.8%	4
1人1日当たりごみ排出量	950 g	30
使用電力量・電灯	15,875百万kwh	5
(安全)		
出火件数	2,552件	5
救急自動車救急出動件数	288,691件	4
交通事故発生件数	39,581件	6
運転免許保有者数	4,544,555人	5
保有自動車数	3,913,007両	4
刑法犯認知件数	106,228件	4
刑法犯検挙率	28.3%	41

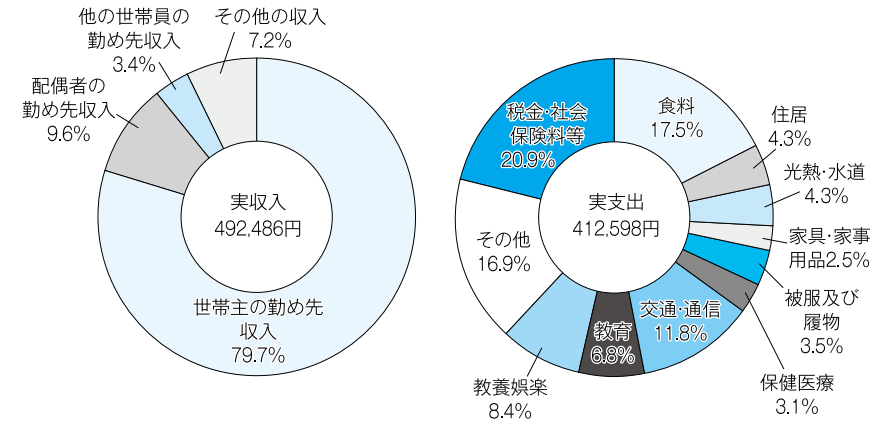
～本編より抜粋～



31 家計

1世帯当たり1か月間の収入と支出 (平成21年)

単 位	* 1		* 2		* 3		* 4	
	実収入 円	順位	世帯主の配偶者の 勤め先収入 円	順位	消費支出 円	順位	貯蓄現在高 千円	順位
全 国	474 199		56 405		320 128		11 779	
北海道	420 466	39	45 490	41	292 411	37	9 075	35
青森県	430 550	35	65 315	22	283 414	42	7 527	44
岩手県	408 926	44	65 711	20	288 264	39	9 051	36
宮城県	447 753	29	48 875	37	334 056	11	10 152	31
秋田県	451 234	28	73 991	11	309 067	29	8 588	40
山形県	477 196	20	83 454	5	317 112	24	9 039	29
福島県	481 886	17	72 449	14	328 224	20	10 440	27
茨城県	488 645	13	60 211	27	328 898	19	12 354	21
栃木県	524 816	4	82 015	6	340 945	5	13 447	9
群馬県	471 828	24	69 783	16	307 398	31	11 110	27
埼玉県	492 486	10	47 512	38	326 503	21	12 426	19
千葉県	488 998	12	52 254	36	337 130	7	12 313	22
東京都	516 794	5	58 747	29	330 935	16	13 490	8
神奈川県	539 542	1	45 237	43	344 824	4	13 693	7
新潟県	498 741	7	86 360	3	338 551	6	12 697	18
富山県	532 778	2	85 793	4	368 779	1	13 076	16
石川県	474 819	22	79 939	7	331 274	14	13 172	13
福井県	525 269	3	100 141	1	334 575	9	14 610	5
山梨県	474 756	23	57 180	30	309 405	28	10 778	28
長野県	482 319	16	66 154	19	318 131	23	12 226	23
岐阜県	502 273	6	73 512	12	352 028	3	15 620	2
静岡県	497 152	8	61 764	26	331 019	15	13 293	11
愛知県	484 510	15	45 475	42	330 548	17	13 418	10
三重県	492 034	11	67 089	18	332 814	13	13 282	12
滋賀県	486 427	14	57 072	31	337 112	8	14 756	4
京都府	447 477	30	46 871	39	306 900	32	11 401	25
大阪府	425 476	38	39 174	47	293 714	35	9 677	34
兵庫県	475 925	21	44 427	45	329 086	18	12 365	20
奈良県	462 816	26	44 801	44	356 170	2	14 930	3
和歌山県	417 781	40	46 071	40	278 939	44	10 426	30
鳥取県	425 672	37	75 302	9	289 473	38	12 815	17
島根県	471 268	25	86 441	2	307 531	30	11 619	24
岡山県	479 629	18	65 402	21	323 378	22	13 112	15
広島県	495 407	9	70 453	15	333 744	12	13 143	14
山口県	443 858	33	58 824	28	313 221	25	11 370	26
徳島県	457 119	27	72 638	13	311 835	26	13 873	6
香川県	478 264	19	75 037	10	334 072	10	15 794	1
愛媛県	412 523	43	55 313	33	276 924	46	9 887	32
高知県	435 232	34	75 383	8	296 098	34	8 387	41
福岡県	444 778	32	53 785	35	304 259	33	9 713	33
佐賀県	427 721	36	64 516	24	293 164	36	8 773	39
長崎県	416 783	41	54 527	34	285 224	41	8 135	43
熊本県	403 905	46	56 733	32	285 562	40	8 180	42
大分県	444 961	31	69 770	17	311 266	27	8 863	38
宮崎県	413 448	42	64 774	23	278 837	45	7 398	46
鹿児島県	407 492	45	61 887	25	282 800	43	7 476	45
沖縄県	324 891	47	39 902	46	235 455	47	4 276	47



資料：「全国消費実態調査報告」総務省統計局

実収入、消費支出ともに前回調査より減少

「全国消費実態調査報告」によると、平成21年の本県の二人以上の世帯のうち勤労者世帯の実収入(1か月間)は、前回調査(平成16年)より21,312円減少して492,486円でした。そのうち世帯主の勤め先収入は392,481円で、実収入全体の79.7%を占めています。また、世帯主の配偶者の勤め先収入は47,512円で、全体の9.6%を占めています。

実支出は412,598円で、そのうち税金・社会保険料等を除いた消費支出は、前回調査(平成16年)より22,058円減少して326,503円でした。消費支出のうち食料費は72,086円で、エンゲル係数(消費支出に占める食料費の割合)は22.1%(前回調査比0.1ポイント増)でした。

1世帯当たり貯蓄現在高は1,243万円

「全国消費実態調査報告」によると、平成21年の二人以上の世帯のうち勤労者世帯の1世帯当たり貯蓄現在高は1,243万円でした。

※表*1~4及びグラフは、二人以上の世帯のうち勤労者世帯の数値です。

~家計調査にみる食料品購入量ランキング~

さいたま市の食料品購入量が全国ランキングで上位の品目を紹介します。

◆牛乳◆ (単位:ℓ)				◆チーズ◆ (単位:g)				◆プロックリー◆ (単位:g)				◆グレープフルーツ◆ (単位:g)			
順位	都 市	購入量	順位	都 市	購入量	順位	都 市	購入量	順位	都 市	購入量	順位	都 市	購入量	
1	奈良市	104.41	1	さいたま市	3,191	1	さいたま市	5,264	1	新潟市	5,222	1	新潟市	5,222	
2	さいたま市	101.92	2	東京都区部	3,127	2	東京都区部	5,081	2	さいたま市	4,958	2	さいたま市	4,958	
3	千葉市	100.58	3	川崎市	3,089	3	山形市	5,062	3	仙台市	4,632	3	仙台市	4,632	

注) 2人以上の世帯で1世帯当たりの年間購入数量(平成20年~22年平均)を都道府県庁所在市及び政令指定都市別に集計したものです。

資料：「家計調査年報」総務省統計局



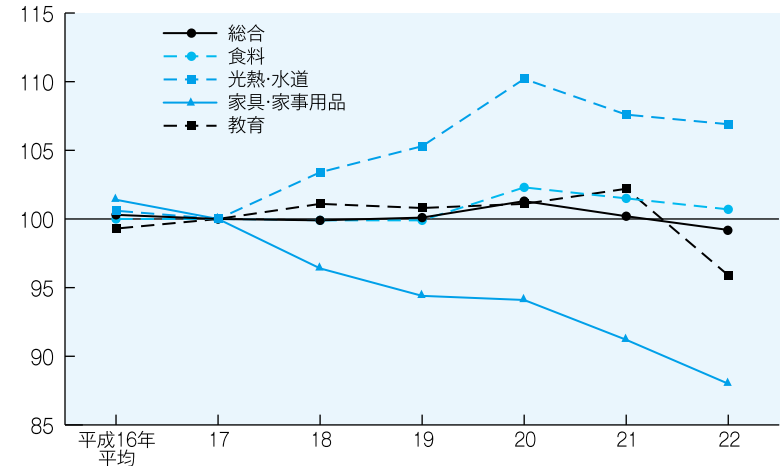
資料出所
*1~3「全国消費実態調査報告」総務省統計局
*4「全国消費実態調査報告」総務省統計局

調査時点又は期間
平成21年9~11月平均 5年
平成21年11月末 5年

32 物価

主な消費者物価指数 (さいたま市・平成17年=100)

単 位	* 1 消費者物価指数・総合 (平成17年=100)		* 2 消費者物価地域差指数・総合 (持家の帰属家賃を除く) (51市平均=100)		* 3 消費者物価地域差指数 ・食料(51市平均=100)		* 4 用途別平均価格 ・住宅地	
	—	順位	—	順位	—	順位	円 / m ²	順位
全 国	99.6		100.0		100.0		...	
北海道	99.1	33	99.3	25	95.2	44	18 900	46
青森県	99.9	11	99.8	20	98.1	31	20 300	45
岩手県	99.2	30	98.7	33	97.2	37	26 700	37
宮城県	99.1	33	98.0	40	97.4	36	32 800	28
秋田県	98.1	46	97.5	43	95.9	42	17 100	47
山形県	99.6	21	100.8	14	99.5	23	21 100	44
福島県	99.7	17	101.5	10	101.8	13	21 800	43
茨城県	100.5	4	98.4	36	95.5	43	34 900	23
栃木県	99.7	17	100.6	17	97.8	33	39 500	17
群馬県	98.5	41	97.4	44	97.6	35	33 600	27
埼玉県	99.2	30	102.5	5	102.9	8	109 000	5
千葉県	99.3	26	98.4	36	100.7	17	72 300	9
東京都	99.0	37	106.5	2	106.5	1	309 200	1
神奈川県	100.2	7	106.8	1	105.9	3	179 000	2
新潟県	99.0	37	98.7	33	96.9	40	30 100	31
富山県	98.5	41	98.4	36	96.9	40	32 700	29
石川県	99.8	15	103.7	3	106.2	2	43 400	15
福井県	99.1	33	99.0	31	100.4	19	34 700	25
山梨県	100.5	4	99.8	20	99.3	24	29 500	32
長野県	99.3	26	98.4	36	93.9	47	27 600	34
岐阜県	99.7	17	97.9	42	98.3	29	36 100	21
静岡県	100.0	9	99.1	29	98.3	29	73 700	8
愛知県	99.4	23	99.2	27	97.9	32	101 200	6
三重県	100.7	2	99.6	23	100.2	20	34 900	23
滋賀県	99.3	26	100.4	18	99.3	24	52 500	12
京都府	99.1	33	101.6	9	100.2	20	112 100	4
大阪府	97.9	47	101.3	12	100.7	17	150 500	3
兵庫県	99.4	23	101.7	8	102.8	9	97 400	7
奈良県	98.4	43	97.1	46	97.2	37	57 400	10
和歌山県	101.8	1	101.8	6	102.8	9	39 300	18
鳥取県	98.8	40	99.1	29	98.6	27	24 200	40
島根県	100.5	4	101.8	6	102.0	11	24 200	40
岡山県	99.9	11	99.8	20	99.0	26	34 700	25
広島県	99.9	11	101.3	12	102.0	11	53 600	11
山口県	98.4	43	100.7	15	100.2	20	28 300	33
徳島県	100.0	9	101.4	11	104.3	4	35 400	22
香川県	99.4	23	99.2	27	98.6	27	37 500	19
愛媛県	99.7	17	98.6	35	97.2	37	41 500	16
高知県	99.5	22	99.3	25	100.9	16	36 500	20
福岡県	98.9	39	97.4	44	95.2	44	45 800	13
佐賀県	99.3	26	98.0	40	94.7	46	22 400	42
長崎県	99.2	30	103.3	4	103.2	6	25 600	39
熊本県	100.1	8	100.1	19	101.4	14	27 400	35
大分県	99.8	15	98.9	32	101.0	15	27 200	36
宮崎県	98.4	43	96.9	47	97.8	33	26 700	37
鹿児島県	99.9	11	100.7	15	103.6	5	30 500	30
沖縄県	100.7	2	99.5	24	103.1	7	44 000	14



資料：「消費者物価指数年報」総務省統計局

消費者物価指数(総合)が前年より1.0%下落

「消費者物価指数年報」によると、平成22年平均のさいたま市の消費者物価指数(平成17年=100)は、総合指数が前年より1.0%下落して99.2でした。

平成22年平均のさいたま市の消費者物価地域差指数の総合指数(持家の帰属家賃を除く)は51市を100とすると102.5でした。また、消費者物価地域差指数の食料は51市を100とすると102.9でした。

住宅地の平均価格3年連続の下落

「都道府県地価調査」によると、平成23年の住宅地の1㎡当たり平均価格は、前年より2,700円下落し、109,000円で全国第5位でした。

※表*1~3は、各都道府県庁所在市の数値です。

※表*2~3及び文中の51市とは、都道府県庁所在市(東京都については東京都区部)及び政令指定都市(川崎市、浜松市、堺市、北九州市)です。

~消費者物価指数と消費者物価地域差指数~

・消費者物価指数(CPI)

全国の世帯が購入する家計に係る財及びサービスの価格等を総合した物価の変動を、時系列的に測定したもの。結果は各種経済施策や年金の改定などに利用される。毎月作成。

・消費者物価地域差指数

51市の平均を基準(=100)とした年平均の指数を表したもの。平成21年までは、全国平均(=100)として全ての価格調査市町村のデータを用いて作成していたが、平成22年から51市(=100)として作成されています。



おしえてコバトン

資料出所

- * 1 「消費者物価指数年報」総務省統計局
- * 2.3 「消費者物価地域差指数の概況」総務省統計局HP
- * 4 「都道府県地価調査」国土交通省HP

調査時点又は期間

- 平成22年平均
- 平成22年平均
- 平成23年7月1日

調査周期

- 毎年
- 毎年
- 毎年

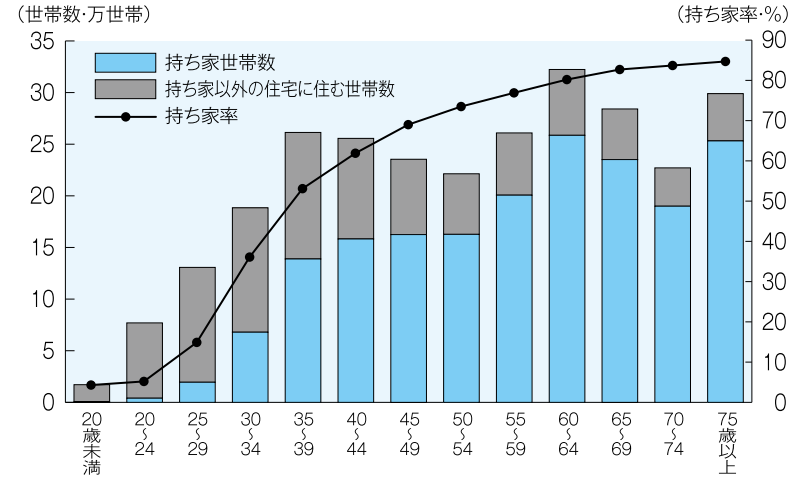
33 住宅

単 位	* 1 持ち家に住む一般世帯割合		* 2 共同住宅に住む一般世帯割合		* 3 1住宅当たり延べ面積		* 4 着工新設住宅戸数	
	%	順位	%	順位	m ²	順位	戸	順位
全 国	61.9		41.6		92.41		813 126	
北海道	56.2	43	41.9	9	90.07	38	28 983	9
青森県	70.6	16	20.3	43	122.38	10	4 708	38
岩手県	70.9	14	22.0	40	123.74	9	5 227	36
宮城県	61.1	40	38.6	13	98.72	30	12 714	15
秋田県	78.3	2	15.8	47	136.94	3	3 981	42
山形県	75.6	4	20.1	44	134.98	4	4 125	40
福島県	69.2	23	24.4	32	114.57	15	9 342	24
茨城県	71.0	13	24.6	31	106.22	23	19 855	11
栃木県	68.8	24	26.0	28	105.25	24	13 506	14
群馬県	70.7	15	23.3	35	106.65	22	12 625	16
埼玉県	66.3	30	41.7	10	85.34	42	55 368	4
千葉県	65.3	33	43.9	8	88.32	39	45 085	6
東京都	46.6	47	67.7	1	62.51	47	119 858	1
神奈川県	58.9	42	54.9	2	75.66	44	69 473	2
新潟県	74.4	5	22.4	38	131.08	5	11 382	17
富山県	78.3	1	19.7	46	148.69	1	5 388	35
石川県	69.6	21	28.1	20	125.96	7	6 484	29
福井県	75.7	3	20.5	42	144.73	2	3 816	44
山梨県	69.3	22	24.8	30	111.39	18	4 681	39
長野県	71.8	12	21.2	41	124.56	8	10 650	20
岐阜県	73.4	8	22.8	36	121.63	12	11 166	18
静岡県	66.4	29	31.3	15	100.14	27	25 314	10
愛知県	59.7	41	45.2	7	93.01	37	57 952	3
三重県	74.3	6	22.2	39	113.92	16	10 208	22
滋賀県	72.1	10	29.4	17	115.79	13	9 688	23
京都府	61.8	38	40.2	11	84.13	43	15 269	12
大阪府	55.0	44	54.1	3	73.41	46	54 619	5
兵庫県	64.6	35	46.1	6	93.47	35	34 756	7
奈良県	72.8	9	28.8	19	109.82	19	6 423	30
和歌山県	73.9	7	20.1	45	103.82	25	4 867	37
鳥取県	70.3	18	23.6	34	122.29	11	2 140	47
島根県	71.9	11	22.5	37	126.74	6	2 463	46
岡山県	66.8	26	27.8	21	106.76	21	10 231	21
広島県	61.6	39	38.8	12	95.04	33	14 851	13
山口県	67.1	25	27.7	22	101.88	26	7 046	27
徳島県	70.6	17	25.1	29	107.55	20	3 822	43
香川県	70.3	19	26.8	24	112.72	17	5 450	34
愛媛県	66.7	28	26.3	27	99.02	29	6 517	28
高知県	66.7	27	26.4	25	93.03	36	2 680	45
福岡県	53.7	45	50.0	5	85.46	41	31 156	8
佐賀県	69.8	20	24.0	33	115.15	14	4 075	41
長崎県	65.1	34	29.4	18	97.45	31	5 466	33
熊本県	63.9	36	30.7	16	99.39	28	8 842	25
大分県	63.2	37	32.9	14	96.07	32	5 758	31
宮崎県	66.0	31	26.3	26	93.96	34	5 738	32
鹿児島県	65.6	32	27.0	23	87.06	40	8 669	26
沖縄県	49.6	46	52.3	4	74.82	45	10 709	19

資料出所
 * 1.2 「国勢調査」総務省統計局HP
 * 3 「住宅・土地統計調査報告」総務省統計局
 * 4 「建築着工統計調査」国土交通省HP

調査時点又は期間
 平成22年10月1日
 平成20年10月1日
 平成22年
 調査周期
 5年
 5年
 毎年

世帯主の年代別、住宅の所有別世帯数と持ち家率 (平成22年10月1日)



資料：「国勢調査」総務省統計局HP

全国平均を上回る、共同住宅に住む世帯割合

「国勢調査」によると、平成22年10月1日現在の持ち家に住んでいる一般世帯の割合(持ち家率)は、前回調査(平成17年)と同じ66.3%でした。

共同住宅に住む世帯の割合は、全国的に大都市を中心に高い傾向にありますが、本県も全国平均(41.6%)を上回る41.7%で、全国第10位でした。

「住宅・土地統計調査報告」によると、平成20年10月1日現在の1住宅当たり延べ面積は、85.34㎡で、全国第42位でした。

着工新設住宅戸数は、前年比2.2%の増加

「建築着工統計調査」によると、平成22年の着工新設住宅戸数は、前年より1,170戸(2.2%)増加して55,368戸でした。

※表* 1.2、グラフ及び文中の世帯は「住宅に住む一般世帯」のことです。

～着工新設住宅戸数の内訳(平成22年)～

埼玉県の着工新設住宅戸数を利用目的別にみると、持家が18,808戸、貸家が19,316戸、給与住宅(会社、官公署、学校等がその社員、職員、教員等を居住させる目的で建築するもの)が263戸、分譲住宅が16,981戸で、分譲住宅のうちマンションが4,215戸、一戸建が12,744戸でした。

また、持家の戸数については、愛知県の23,112戸、東京都の20,144戸に次いで、埼玉県が全国第3位でした。

資料：「建築着工統計調査」国土交通省HP



おしえてコバトン

34 生活時間

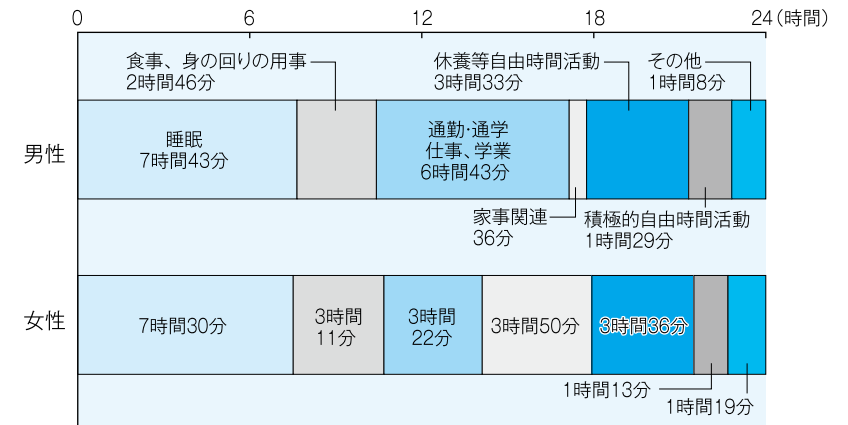
1日の生活時間 (平成18年10月)

単 位	* 1		* 2		* 3		* 4	
	1次活動 (睡眠・食事等)		2次活動 (仕事・家事等)		3次活動 (自由時間)		通勤・通学	
	時間. 分	順位	時間. 分	順位	時間. 分	順位	時間. 分	順位
全 国	10.37		7.00		6.23		0.31	
北海道	10.38	25	6.27	47	6.56	1	0.23	36
青森県	10.52	3	7.04	18	6.04	46	0.22	38
岩手県	10.50	5	7.01	20	6.09	42	0.24	28
宮城県	10.47	9	6.50	39	6.23	15	0.27	16
秋田県	11.08	1	6.32	46	6.20	25	0.22	38
山形県	10.52	3	6.53	33	6.15	36	0.21	45
福島県	10.45	11	6.56	31	6.18	32	0.25	22
茨城県	10.43	16	6.58	28	6.20	25	0.31	9
栃木県	10.40	20	6.58	28	6.22	20	0.27	16
群馬県	10.44	13	7.11	7	6.05	45	0.27	16
埼玉県	10.35	30	7.16	3	6.09	42	0.42	2
千葉県	10.30	42	7.16	3	6.14	37	0.43	1
東京都	10.39	22	7.01	20	6.19	28	0.38	4
神奈川県	10.25	46	7.17	1	6.18	32	0.42	2
新潟県	10.44	13	6.48	41	6.29	7	0.24	28
富山県	10.30	42	7.05	16	6.25	11	0.25	22
石川県	10.30	42	7.17	1	6.13	40	0.25	22
福井県	10.43	16	7.15	5	6.02	47	0.23	36
山梨県	10.50	5	6.56	31	6.14	37	0.24	28
長野県	10.45	11	7.06	15	6.08	44	0.25	22
岐阜県	10.31	41	7.13	6	6.16	35	0.30	12
静岡県	10.36	27	7.02	19	6.22	20	0.27	16
愛知県	10.24	47	7.10	9	6.26	10	0.31	9
三重県	10.33	37	7.05	16	6.22	20	0.31	9
滋賀県	10.30	42	7.09	10	6.21	23	0.30	12
京都府	10.36	27	7.00	24	6.25	11	0.33	6
大阪府	10.39	22	6.45	42	6.37	4	0.33	6
兵庫県	10.34	32	6.53	33	6.34	6	0.32	8
奈良県	10.34	32	7.07	13	6.20	25	0.38	4
和歌山県	10.47	9	6.50	39	6.23	15	0.26	20
鳥取県	10.36	27	7.01	20	6.23	15	0.22	38
島根県	10.49	7	6.52	35	6.19	28	0.22	38
岡山県	10.34	32	7.07	13	6.19	28	0.26	20
広島県	10.39	22	7.09	10	6.12	41	0.29	14
山口県	10.34	32	6.59	27	6.27	8	0.24	28
徳島県	10.43	16	6.38	44	6.39	3	0.22	38
香川県	10.34	32	7.01	20	6.25	11	0.24	28
愛媛県	10.37	26	6.34	45	6.49	2	0.20	47
高知県	10.55	2	6.42	43	6.23	15	0.21	45
福岡県	10.33	37	7.00	24	6.27	8	0.29	14
佐賀県	10.33	37	7.09	10	6.19	28	0.24	28
長崎県	10.33	37	6.51	36	6.35	5	0.25	22
熊本県	10.44	13	6.51	36	6.24	14	0.24	28
大宮	10.40	20	6.57	30	6.23	15	0.24	28
分岐	10.42	19	7.00	24	6.18	32	0.22	38
鹿児島県	10.48	8	6.51	36	6.21	23	0.22	38
沖縄県	10.35	30	7.11	7	6.14	37	0.25	22

資料出所
*1~4「社会生活基本調査」総務省統計局

調査時点又は期間
平成18年10月

調査周期
5年



資料：「社会生活基本調査」総務省統計局

全国第2位の通勤・通学時間

「社会生活基本調査」によると、平成18年の10歳以上の人の1日の生活時間は、前回調査(平成13年)より、1次活動時間が3分増加して10時間35分でした。2次活動時間は10分増加して7時間16分、3次活動時間は13分減少して6時間9分でした。

2次活動時間は、男性が7時間20分、女性が7時間12分でほとんど変わりませんが、そのうち家事関連時間は、男性が36分(前回調査30分)、女性が3時間50分(同3時間47分)と、前回調査に引き続き大きな差があります。一方、通勤・通学、仕事、学業を合計した時間は、男性6時間43分、女性3時間22分と、男性が女性の約2倍でした。

なお、2次活動のうちの通勤・通学時間は、前回調査と同じ42分で、全国第2位でした。

- 1次活動** 睡眠、食事など生理的に必要な活動
- 2次活動** 仕事、家事など社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動
- 3次活動** 1次、2次活動以外で各人が自由に使える時間における活動

※表*1~4、グラフ及び文中の生活時間は、週全体の1人1日当たりの総平均(該当する活動をしなかった者を含む全員(10歳以上)についての平均)時間です。

~平均夕食開始時刻~

埼玉県民が平日に夕食を食べ始める平均時刻は19時18分で、全国平均(19時9分)と比べると、9分遅くなっています。

全国で夕食開始時刻が最も早かったのは、本県より32分早い北海道の18時46分で、最も遅かったのは、本県より11分遅い沖縄の19時29分でした。

資料：「社会生活基本調査」総務省統計局



おしえてコバトン

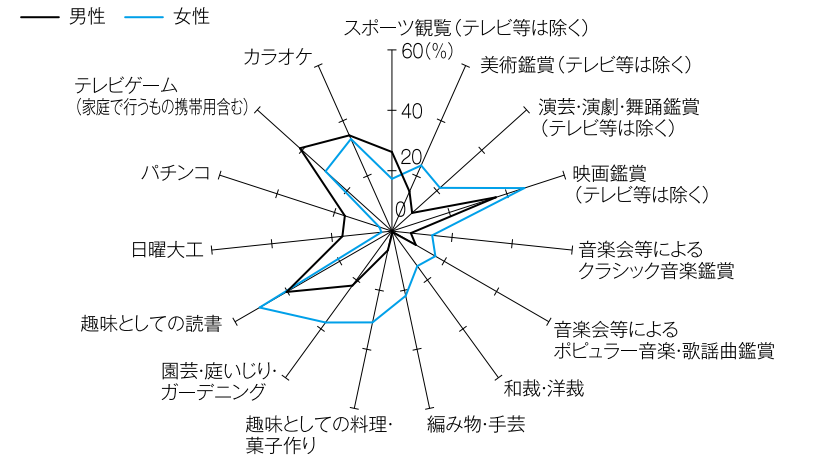
35 余暇

主な趣味・娯楽の行動者率 (平成18年10月)

単 位	* 1 趣味・娯楽の行動者率 (総数)		* 2 CD・テープ・レコード などによる音楽鑑賞 の行動者率		* 3 趣味としての読書 の行動者率		* 4 教養娯楽費 (2人以上の世帯・ 勤労者世帯)	
	%	順位	%	順位	%	順位	円	順位
全 国	84.9		52.4		41.9		34 160	
北海道	84.8	13	50.8	15	40.9	10	34 020	23
青森県	76.0	47	44.7	36	32.4	47	26 375	44
岩手県	80.6	38	44.4	39	34.6	37	28 634	39
宮城県	84.8	13	51.1	13	40.4	11	35 349	19
秋田県	78.6	43	43.1	45	33.6	42	33 924	25
山形県	78.7	42	43.1	45	34.4	39	33 240	27
福島県	78.3	46	46.0	33	34.2	41	30 435	34
茨城県	82.1	28	50.0	19	37.1	28	37 177	7
栃木県	83.9	20	50.9	14	38.9	21	39 152	4
群馬県	84.7	15	50.8	15	39.5	19	36 073	13
埼玉県	87.3	5	56.3	3	45.4	4	38 607	6
千葉県	87.5	3	55.8	5	46.6	3	40 938	2
東京都	88.5	2	61.6	1	52.0	1	47 701	1
神奈川県	89.3	1	60.4	2	50.8	2	36 491	10
新潟県	80.5	39	44.7	36	36.2	31	35 833	14
富山県	82.8	25	44.7	36	36.9	29	34 188	22
石川県	85.7	9	48.9	21	37.3	24	36 098	12
福井県	84.3	16	47.9	24	36.0	34	29 107	37
山梨県	83.4	23	46.3	31	37.2	25	36 727	9
長野県	83.8	21	50.0	19	40.3	12	35 497	16
岐阜県	84.2	18	47.2	28	36.1	33	35 408	18
静岡県	84.2	18	51.5	11	39.9	16	36 111	11
愛知県	87.1	6	54.3	7	40.1	14	40 208	3
三重県	82.0	30	50.1	17	36.3	30	33 049	28
滋賀県	87.4	4	55.9	4	42.5	9	34 564	21
京都府	86.4	8	53.2	9	45.2	5	35 491	17
大阪府	85.7	9	53.4	8	42.8	7	27 341	41
兵庫県	85.6	12	53.0	10	42.8	7	35 635	15
奈良県	87.0	7	55.3	6	45.2	5	38 983	5
和歌山県	81.4	32	46.3	31	34.5	38	30 036	35
鳥取県	82.8	25	45.9	34	37.5	23	27 282	42
島根県	79.7	40	43.4	44	35.2	36	26 165	46
岡山県	83.0	24	47.7	26	39.2	20	37 087	8
広島県	85.7	9	50.1	17	40.2	13	32 648	31
山口県	83.7	22	46.9	30	39.7	17	35 103	20
徳島県	80.7	37	44.1	42	35.8	35	33 968	24
香川県	82.1	28	47.1	29	39.7	17	33 034	29
愛媛県	81.3	33	47.8	25	37.2	25	29 419	36
高知県	78.4	44	42.1	47	33.4	43	30 627	33
福岡県	84.3	16	51.2	12	40.1	14	27 619	40
佐賀県	81.0	34	44.3	40	32.8	45	26 927	43
長崎県	79.7	40	43.9	43	36.2	31	33 572	26
熊本県	80.8	36	45.2	35	34.3	40	29 074	38
大分県	81.0	34	44.3	40	32.6	46	32 784	30
宮崎県	81.9	31	47.7	26	37.7	22	26 257	45
鹿児島県	82.6	27	48.5	23	37.2	25	32 139	32
沖縄県	78.4	44	48.6	22	32.9	44	21 258	47

資料出所
* 1~3 「社会生活基本調査」総務省統計局
* 4 「家計調査年報」総務省統計局HP

調査時点又は期間
平成18年10月
平成22年平均
調査周期
5年
毎年



資料：「社会生活基本調査」総務省統計局

趣味・娯楽の行動者率は87.3%

「社会生活基本調査」によると、過去1年間に何らかの趣味・娯楽活動を行った人(10歳以上)は5,528千人で、行動者率は87.3%(男性86.9%、女性87.8%)でした。
行動者率を種類別にみると、「CD・テープ・レコードなどによる音楽鑑賞」が56.3%で最も高く、次いで「DVD・ビデオなどによる映画鑑賞(テレビからの録画は除く)」49.5%、「趣味としての読書」45.4%の順でした。

教養娯楽への支出は全国第6位

「家計調査年報」によると、平成22年のさいたま市の2人以上の世帯のうち勤労者世帯の教養娯楽費(1か月間・年平均)は38,607円で、全国第6位でした。

※ 表*4は、各都道府県庁所在市の数値です。

~年間支出額からみた余暇活動~

平成22年の2人以上の世帯の1世帯当たり年間支出額をみると、映画・演劇等入場料は12,041円、スポーツ観覧料は3,329円で、都道府県庁所在市の中で、さいたま市がともに全国第1位でした。

また、遊園地入場・乗物代は、東京都区部の3,901円に次いで、さいたま市の3,829円が全国第2位で、書籍代は富士市の26,311円、東京都区部の15,403円に次いで、さいたま市の13,308円が全国第3位でした。

資料：「家計調査年報」総務省統計局



おしえてコバトン

36 旅行・行楽

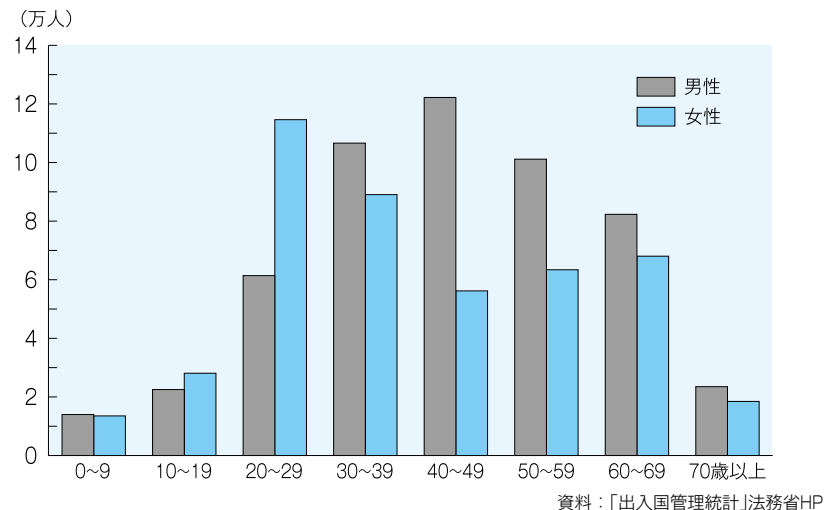
単 位	* 1 旅行・行楽の行動者率 (総数)		* 2 国内観光旅行の 行動者率		* 3 日本人出国者数		* 4 一般旅券発行数	
	%	順位	%	順位	人	順位	件	順位
全 国	76.2		49.6		16 637 224		4 185 080	
北海道	74.1	26	44.2	28	300 377	12	110 197	10
青森県	64.3	45	31.8	46	42 072	43	18 940	42
岩手県	69.3	41	38.2	39	45 818	42	19 455	40
宮城県	75.7	18	50.2	13	141 554	22	49 057	22
秋田県	69.5	40	37.2	43	38 378	44	15 937	44
山形県	70.8	35	44.5	26	53 265	40	21 175	38
福島県	71.0	34	42.1	31	106 641	25	40 353	25
茨城県	74.4	24	46.3	24	309 898	11	89 639	12
栃木県	76.1	15	48.9	20	180 460	18	53 919	17
群馬県	75.8	16	49.2	18	170 395	20	51 536	19
埼玉県	80.7	5	56.1	3	985 091	6	258 672	5
千葉県	78.9	7	53.7	7	1 030 581	5	247 034	6
東京都	81.7	3	59.2	1	3 199 428	1	671 634	1
神奈川県	82.1	1	58.7	2	1 781 473	2	409 718	2
新潟県	74.4	24	50.0	14	137 686	23	50 692	20
富山県	77.7	10	50.9	9	77 531	32	26 716	32
石川県	77.3	12	50.0	14	91 090	27	30 580	28
福井県	78.1	9	49.0	19	63 076	37	21 352	37
山梨県	75.2	21	50.3	12	82 619	30	26 085	35
長野県	79.2	6	50.9	9	174 277	19	54 314	16
岐阜県	77.5	11	48.6	22	233 151	14	64 720	14
静岡県	75.7	18	50.0	14	410 963	9	123 828	9
愛知県	81.7	3	55.3	4	1 094 240	4	279 921	4
三重県	75.0	22	50.6	11	199 636	16	58 347	15
滋賀県	81.8	2	54.4	5	181 945	17	50 301	21
京都府	77.1	13	51.3	8	374 484	10	97 310	11
大阪府	76.4	14	49.3	17	1 281 062	3	326 542	3
兵庫県	75.8	16	48.8	21	825 631	7	207 433	7
奈良県	78.4	8	53.9	6	209 336	15	53 269	18
和歌山県	69.8	39	43.2	29	84 120	29	26 413	33
鳥取県	72.3	28	42.0	33	37 584	45	13 081	45
島根県	68.6	42	36.8	44	32 082	47	12 361	47
岡山県	75.5	20	46.2	25	153 775	21	47 180	23
広島県	72.9	27	44.3	27	250 161	13	76 527	13
山口県	72.1	29	42.1	31	102 512	26	33 111	26
徳島県	69.9	38	41.9	34	53 755	39	18 719	43
香川県	71.8	30	43.0	30	73 376	34	23 756	36
愛媛県	67.1	43	37.6	42	85 461	28	28 459	31
高知県	61.1	46	33.9	45	35 325	46	13 044	46
福岡県	74.9	23	47.3	23	559 006	8	166 747	8
佐賀県	70.3	36	41.8	35	58 342	38	20 050	39
長崎県	65.1	44	38.1	40	81 982	31	29 534	29
熊本県	71.1	33	40.3	38	122 147	24	41 399	24
大分県	71.2	32	40.6	37	72 741	35	26 108	34
宮崎県	71.3	31	40.7	36	47 360	41	19 278	41
鹿児島県	70.0	37	38.0	41	70 550	36	28 858	30
沖縄県	53.2	47	24.3	47	77 225	33	31 772	27

資料出所
 * 1.2 「社会生活基本調査」総務省統計局
 * 3 「出入国管理統計」法務省HP
 * 4 「旅券統計」外務省HP

調査時点又は期間
 平成18年10月
 平成22年
 平成22年

調査周期
 5年
 毎年
 毎年

年齢別日本人出国者数 (平成22年)



全国平均を上回る旅行・行楽の行動者率

「社会生活基本調査」によると、平成18年の旅行・行楽の行動者率は80.7%で、前回調査(平成13年)より6.2ポイント低下し、全国第5位でした。行楽(日帰り)は62.0%で、前回調査より9.5ポイント、旅行は70.2%で、6.6ポイント低下しました。

また、旅行のうち国内の観光旅行の行動者率は56.1%で、前回調査より6.5ポイント低下し、全国第3位でした。

日本人出国者数 男性は40代、女性は20代が最多

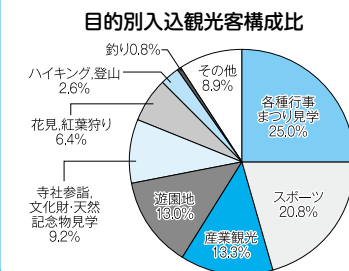
「出入国管理統計」によると、平成22年の本県を住所地とする日本人出国者数は、前年より60,656人増加し、985,091人(男性533,710人、女性451,381人)で、全国第6位でした。年代別にみると、男性は40代が122,206人、女性は20代が114,624人で最も多くなっています。また、10代、20代では女性が男性を上回っています。

「旅券統計」によると、平成22年の一般旅券発行数は、前年より8,987件増加して258,672件でした。

※表*3の全国計は、住所地が外国の者及び不詳を含みます。

※表*4の数値は、在外公館での旅券発行分を含みません。また、全国計は、外務省発行分を含みます。

～埼玉県の入込観光客～



本県の平成21年の入込観光客数は1億1,420万人と推計され、前年の1億1,396万人より24万人(0.2%)増加しました。目的別では、各種行事まつり見学客が前年より99万人増加し、13年連続で1位でした。前年と比較すると、遊園地客、花見客及び紅葉狩り客、ハイキング及び登山客、釣り客は増加し、寺社参詣及び文化財・天然記念物見学客、その他は減少しました。また、日帰り客は全体の56.4%で、宿泊客はわずか1.7%でした。

資料：県観光課「平成21年(暦年)入込観光客」推計調査



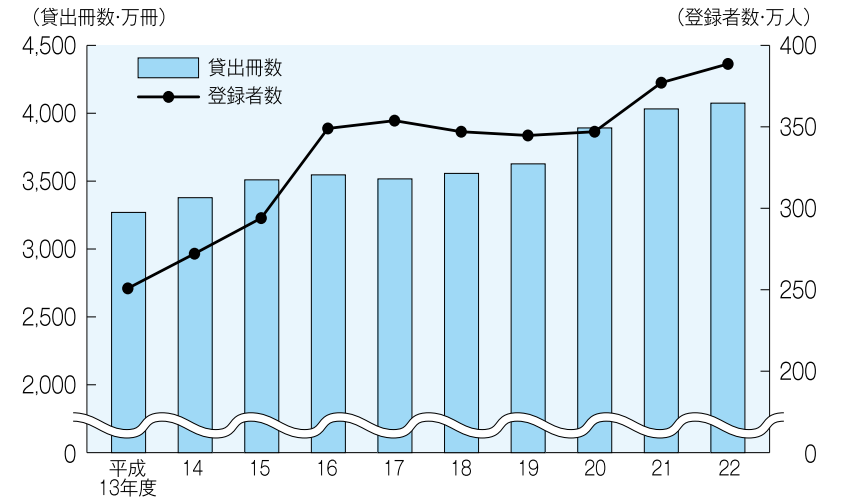
37 文化施設

単 位	* 1		* 2		* 3		* 4	
	図書館数		博物館及び 博物館類似施設数		公民館及び 公民館類似施設数		文化会館数	
	館	順位	館・施設	順位	館・施設	順位	館	順位
全 国	3 165		5 775		16 566		1 893	
北海道	144	3	321	2	511	6	72	7
青森県	34	37	86	35	299	28	21	37
岩手県	47	24	110	20	334	24	28	31
宮城県	34	37	125	16	511	6	40	17
秋田県	46	27	93	28	408	14	23	34
山形県	36	35	82	36	640	3	22	36
福島県	64	16	122	18	420	12	36	23
茨城県	57	20	96	27	389	16	39	20
栃木県	47	24	165	10	193	39	32	26
群馬県	39	31	98	24	228	34	43	16
埼玉県	157	2	124	17	526	4	80	4
千葉県	133	5	122	18	318	27	54	9
東京都	384	1	318	3	136	44	128	1
神奈川県	83	12	178	9	178	41	72	7
新潟県	78	13	236	4	740	2	44	15
富山県	58	19	107	22	337	22	32	26
石川県	47	24	134	12	331	25	29	30
福井県	37	32	66	38	221	35	20	40
山梨県	52	21	97	26	525	5	21	37
長野県	113	6	368	1	1 378	1	49	11
岐阜県	73	14	207	7	346	20	45	14
静岡県	92	9	194	8	174	43	52	10
愛知県	91	10	219	5	403	15	74	5
三重県	41	30	105	23	433	10	40	17
滋賀県	50	23	91	31	176	42	34	25
京都府	69	15	127	15	232	33	37	22
大阪府	141	4	110	20	294	29	84	2
兵庫県	99	8	213	6	373	19	74	5
奈良県	33	40	51	41	439	9	32	26
和歌山県	29	42	41	46	331	25	21	37
鳥取県	28	44	49	43	197	38	15	45
島根県	37	32	88	33	341	21	19	42
岡山県	61	17	133	14	431	11	39	20
広島県	84	11	134	12	387	17	48	12
山口県	51	22	88	33	291	30	36	23
徳島県	29	42	46	44	337	22	14	47
香川県	28	44	45	45	182	40	16	44
愛媛県	43	29	89	32	473	8	27	32
高知県	34	37	39	47	205	36	15	45
福岡県	106	7	137	11	385	18	84	2
佐賀県	21	47	65	39	136	44	20	40
長崎県	37	32	92	29	203	37	40	17
熊本県	46	27	98	24	414	13	30	29
大分県	33	40	67	37	245	32	23	34
宮崎県	24	46	50	42	120	46	26	33
鹿児島県	59	18	92	29	291	30	46	13
沖縄県	36	35	57	40	104	47	17	43

資料出所 *1~4「社会教育調査」文部科学省HP

調査時点又は期間 調査周期
平成20年10月1日 3年

市町村立図書館登録者数と貸出冊数



注)貸出冊数は、自動車図書館分を含み、団体貸出分を除く。
資料：「埼玉の公立図書館」埼玉県図書館協会HP

全国でも上位の文化施設数

「社会教育調査」によると、平成20年10月1日現在の図書館数は、前回調査(平成17年)より10館増加し157館で、前回に引き続き全国第2位でした。

また、博物館数は、前回調査より3館減少して23館、博物館類似施設数は、7施設増加して101施設、合計で4増加の124でした。

公民館数は、前回調査より20館減少して508館、公民館類似施設数は、4施設減少して18施設、合計で24減少の526でした。

文化会館数は、前回調査より1館増加して80館で、全国第4位でした。

「埼玉の公立図書館」によると、市町村立図書館の平成22年度の貸出冊数は、前年度より503,019冊増加して40,776,072冊、登録者数(年度末現在)は、124,764人増加して3,875,066人でした。

～伝統芸能カルチャーバンク事業～

県では、「伝統芸能や民俗芸能に関心があるので、イベントに参加してくれる団体を紹介してほしい。」などの県民の皆様の要望に応えるため、登録している伝統芸能団体の紹介を行う「伝統芸能カルチャーバンク事業」を実施しています。

平成23年12月現在、県内で伝統芸能や民俗芸能に関する活動を行っている72団体(又は個人)がバンクに登録されており、バンクの利用を希望する県内の商店街や町内会などの団体に、県が紹介しています。

資料：県文化振興課HP



おしえてコバトン

38 公園・道路

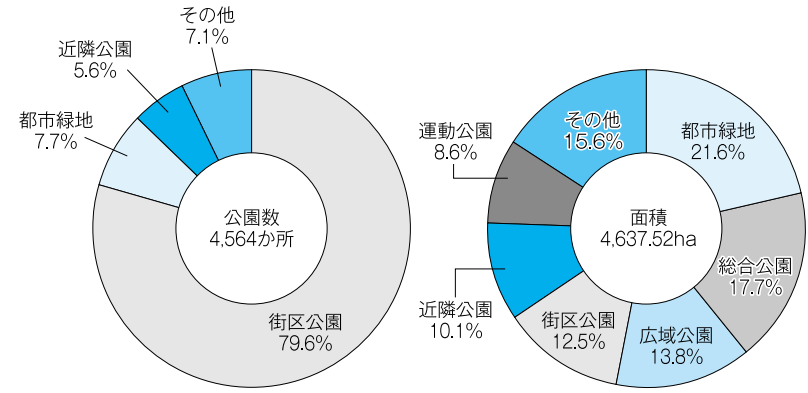
都市公園の整備状況 (平成22年3月31日)

単 位	* 1 都市公園数		* 2 都市公園面積		* 3 道路実延長		* 4 改良率 (国・都道府県道)	
	か所	順位	ha	順位	km	順位	%	順位
全 国	98 584		116 674		1 200 225.1		75.0	
北海道	7 378	2	13 303	1	89 119.2	1	95.1	1
青森県	832	33	2 008	20	19 525.4	26	74.2	22
岩手県	1 183	25	1 423	33	32 810.3	13	82.3	9
宮城県	2 646	11	3 262	10	24 454.8	22	84.0	8
秋田県	573	39	1 745	26	23 577.8	24	79.9	13
山形県	789	35	1 653	28	16 292.8	32	84.1	7
福島県	1 117	27	2 206	19	38 626.0	7	69.2	33
茨城県	1 785	19	2 488	16	55 934.6	2	74.1	23
栃木県	1 937	17	2 671	13	24 690.7	21	73.6	25
群馬県	1 380	22	2 522	15	34 823.9	12	76.2	19
埼玉県	4 564	8	4 637	5	46 558.8	5	86.9	3
千葉県	5 825	5	3 937	9	40 058.8	6	79.4	14
東京都	7 450	1	5 445	3	23 993.4	23	86.2	5
神奈川県	6 934	3	4 419	8	25 188.8	19	86.2	5
新潟県	2 131	16	2 637	14	36 925.2	8	71.0	30
富山県	1 794	18	1 552	30	13 587.2	37	80.7	11
石川県	1 064	29	1 364	36	12 986.5	39	76.6	18
福井県	765	36	1 118	40	10 643.4	44	72.0	28
山梨県	194	47	735	43	10 958.7	42	66.4	37
長野県	897	32	2 375	18	47 547.8	4	67.7	35
岐阜県	1 301	23	1 835	23	30 263.0	15	67.6	36
静岡県	2 285	13	2 980	11	36 268.4	10	75.1	20
愛知県	4 291	9	5 351	4	49 555.9	3	80.2	12
三重県	2 404	12	1 582	29	24 728.6	20	68.5	34
滋賀県	503	40	1 143	39	12 105.1	41	71.6	29
京都府	2 187	15	1 813	24	15 234.3	34	64.5	39
大阪府	5 925	4	4 494	6	19 069.9	27	86.5	4
兵庫県	5 483	7	6 488	2	35 825.3	11	74.4	21
奈良県	2 196	14	1 659	27	12 524.6	40	54.1	44
和歌山県	273	44	650	45	13 278.1	38	53.2	45
鳥取県	305	43	635	46	8 689.1	46	81.9	10
島根県	329	42	1 012	41	18 026.7	28	63.8	41
岡山県	1 480	21	2 435	17	31 659.8	14	64.2	40
広島県	2 892	10	2 748	12	28 305.9	16	73.2	26
山口県	1 102	28	1 784	25	16 189.3	33	62.7	42
徳島県	261	45	573	47	14 944.6	35	50.9	47
香川県	354	41	1 314	37	10 140.6	45	78.4	16
愛媛県	575	38	1 449	32	17 876.6	30	59.1	43
高知県	827	34	676	44	13 719.2	36	52.7	46
福岡県	5 597	6	4 452	7	36 906.9	9	79.4	14
佐賀県	230	46	786	42	10 667.3	43	73.1	27
長崎県	1 144	26	1 498	31	17 871.5	31	69.9	31
熊本県	1 502	20	1 389	35	25 533.5	18	69.9	31
大分県	1 037	30	1 210	38	17 983.7	29	74.0	24
宮崎県	934	31	1 965	21	19 806.4	25	65.8	38
鹿児島県	1 200	24	1 855	22	26 828.0	17	77.2	17
沖縄県	729	37	1 397	34	7 918.9	47	91.6	2

資料出所
* 1.2 国土交通省
* 3.4 「道路統計年報」全国道路利用者会議

調査時点又は期間
平成22年3月31日
平成21年4月1日

調査周期
毎年
毎年



資料：県公園スタジアム課

都市公園数 前年より116か所の増加

国土交通省及び県公園スタジアム課の資料によると、平成22年3月31日現在の都市公園数は、前年より116か所増えて4,564か所、その面積の合計は4,637haで、全国第5位でした。また、1人当たりの公園面積は、全国平均で9.7㎡、本県は6.48㎡でした。

幹線道路の改良率86.9%

「道路統計年報」によると、平成21年4月1日現在の道路の実延長は46,558.8km、舗装率(簡易舗装を除く)は16.9%でした。また、幹線交通を担う国と都道府県道の整備状況は、改良率86.9%で全国第3位でした。

改良率 = 車道幅員5.5m以上の道路延長 ÷ 実延長 × 100

※表*1,2は、都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特定地区公園(カントリーパーク)を含みます。
※表*3は、一般国道、都道府県道(主要地方道を含む)と市町村道の合計です。

～埼玉サイクリングロード～

県で管理しているサイクリングロードの延長はおよそ300kmで、荒川や利根川をはじめ河川堤防上などに整備された7つの大規模自転車道や田園地帯に広がる緑豊かな自然を体感できる緑のヘルシーロード、水と緑のふれあいロードなどがあります。利根川・江戸川サイクリングロードマップでは、群馬県渋川市から東京ディズニーリゾートまで約170kmの川沿いを走る日本一長いサイクリングロードを紹介しています。

資料：県道路環境課HP



おしえてコバトン

39 上下水道

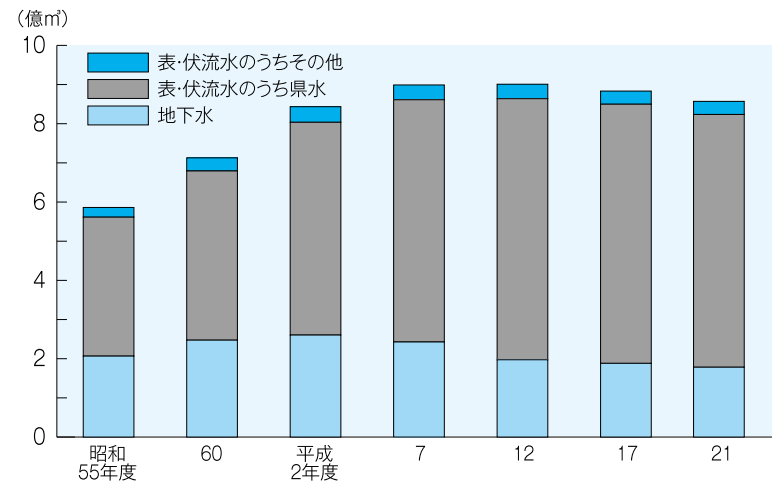
単 位	* 1 上水道年間給水量		* 2 水道普及率		* 3 下水道処理人口普及率		* 4 汚水処理人口普及率	
	千m ³	順位	%	順位	%	順位	%	順位
全 国	14 993 678		97.5		75.1		86.9	
北海道	551 776	8	97.7	22	89.4	6	93.7	9
青森県	137 686	33	97.4	24	54.4	32	71.6	37
岩手県	128 373	37	93.0	39	-	-	-	-
宮城県	267 013	16	98.6	19	-	-	-	-
秋田県	102 188	42	90.4	45	58.3	29	79.9	25
山形県	131 007	34	97.7	22	72.4	14	87.2	16
福島県	215 173	22	92.4	41	-	-	-	-
茨城県	310 726	12	92.3	43	57.2	31	77.2	30
栃木県	239 811	20	95.7	31	60.8	25	79.2	27
群馬県	285 929	15	99.3	10	49.3	35	73.0	34
埼玉県	857 056	5	99.8	4	76.7	11	88.0	13
千葉県	648 643	7	94.5	34	69.2	18	83.2	19
東京都	1 606 045	1	100.0	1	99.2	1	99.5	1
神奈川県	1 111 472	3	99.8	4	95.8	2	97.3	4
新潟県	303 908	14	99.0	14	67.6	20	81.3	21
富山県	117 698	38	93.2	37	79.6	8	93.8	8
石川県	144 539	30	98.7	17	78.8	10	89.8	12
福井県	99 671	43	96.3	30	72.1	15	90.4	11
山梨県	110 801	40	97.9	21	61.1	24	75.9	31
長野県	260 559	17	98.7	17	79.3	9	95.3	7
岐阜県	243 439	19	95.7	31	70.2	17	87.7	14
静岡県	523 413	9	99.0	14	58.7	28	72.9	35
愛知県	878 121	4	99.8	4	72.0	16	85.2	17
三重県	254 654	18	99.4	9	46.3	37	78.0	28
滋賀県	177 329	23	99.3	10	85.8	7	97.9	3
京都府	332 213	11	99.6	8	91.2	5	95.4	6
大阪府	1 170 361	2	100.0	1	93.2	3	95.7	5
兵庫県	684 914	6	99.8	4	91.4	4	98.2	2
奈良県	164 861	27	99.2	12	74.4	13	84.7	18
和歌山県	143 792	31	97.2	25	20.5	43	51.9	43
鳥取県	64 368	47	97.2	25	64.3	22	90.7	10
島根県	66 685	46	96.9	28	41.8	39	72.1	36
岡山県	236 840	21	99.0	14	60.4	26	79.3	26
広島県	310 422	13	93.6	36	68.9	19	82.2	20
山口県	172 706	25	92.6	40	59.7	27	80.3	23
徳島県	105 455	41	95.7	31	14.8	44	49.4	44
香川県	129 476	36	99.2	12	41.3	40	68.1	41
愛媛県	150 510	29	92.4	41	48.0	36	70.3	38
高知県	82 749	45	91.9	44	33.3	42	68.6	40
福岡県	488 703	10	93.1	38	76.6	12	87.5	15
佐賀県	87 437	44	94.4	35	51.0	34	73.4	33
長崎県	130 713	35	98.4	20	57.8	30	74.2	32
熊本県	160 151	28	86.0	47	62.2	23	80.0	24
大分県	117 174	39	90.4	45	45.6	38	67.2	42
宮崎県	137 718	32	96.9	28	53.3	33	77.7	29
鹿児島県	172 125	26	97.0	27	39.4	41	69.9	39
沖縄県	177 275	24	100.0	1	66.5	21	80.6	22

資料出所
 * 1 「水道統計 施設・業務編」(社)日本水道協会
 * 2 「水道統計 施設・業務編」(社)日本水道協会
 * 3,4 「下水道整備状況について」国土交通省HP

調査時点又は期間
 平成21年度
 平成21年度末
 平成22年度末

調査周期
 毎年
 毎年
 毎年

水源別上水道年間給水量



資料：「埼玉県の水道」県生活衛生課

水道普及率99.8%

「水道統計」及び「埼玉県の水道」によると、平成21年度末現在、上水道事業は65事業(63市町)で実施されており、平成21年度の年間給水量は8億5,706万m³で全国第5位でした。上水道の水源の75.3%が、県水道用水供給事業による水(県水)でした。また、平成21年度末現在の給水人口は7,161,441人、水道普及率は前年度より0.1ポイント上昇して99.8%でした。

下水道処理人口普及率、汚水処理人口普及率ともに上昇

国土交通省によると、平成22年度末の下水道処理人口普及率は前年度より0.6ポイント上昇して76.7%、汚水処理人口普及率は0.3ポイント上昇して88.0%でした。

水道普及率 現在給水人口÷総人口×100(人口は、ともに平成22年3月31日現在・厚生労働省)
下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口÷総人口(住民基本台帳人口・総務省統計局)×100
汚水処理人口普及率 汚水処理施設の処理人口÷総人口(住民基本台帳人口・総務省統計局)×100

※表*3,4は、東日本大震災の影響で、岩手県、宮城県、福島県の3県において、調査不能な市町村があるため、平成22年度は調査対象外です。また、順位については、国土交通省公表の順位です。

～9月10日は「下水道の日」～

「下水道の日」は、わが国の下水道の全国的な普及を図るため、昭和36年に「全国下水道促進デー」として始まりました。9月10日と定めたのは、下水道の大きな役割のひとつである「雨水の排除」を念頭に、台風シーズンである220日(立春から数えて)が適当であるとされたからです。平成13年からは「下水道の日」に名称が変更になりました。

県では、「下水道の日」のイベントとして、「下水道の日」作品コンクールを実施し、下水道についての興味や関心を高めていただく取り組みを行っています。

資料：県下水道管理課HP



おしえてコバタン

40 環境

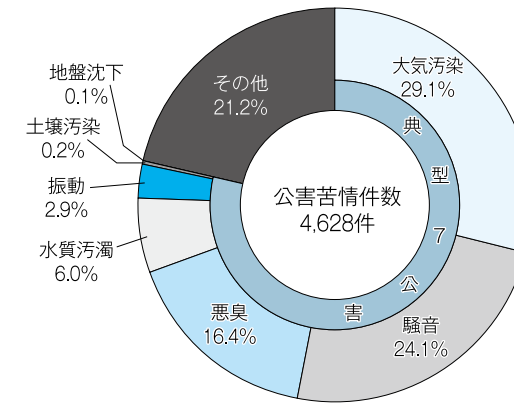
公害の種類別苦情件数構成比 (平成22年度)

単 位	* 1 一般廃棄物 ごみ総排出量		* 2 1人1日当たり ごみ排出量		* 3 ごみのリサイクル率		* 4 公害苦情件数	
	t	順位	g	順位	%	順位	件	順位
全 国	46 252 373		994		20.5		80 095	
北海道	2 099 594	8	1 037	7	20.4	22	2 204	10
青森県	541 203	26	1 049	5	12.9	45	786	34
岩手県	455 216	31	922	38	18.9	24	493	41
宮城県	838 454	15	983	20	17.7	31	929	30
秋田県	399 888	36	983	20	17.2	35	364	46
山形県	392 198	37	909	42	16.9	38	1 390	20
福島県	753 096	17	1 005	15	14.9	41	439	43
茨城県	1 032 747	11	950	30	18.4	26	3 384	7
栃木県	702 973	19	960	27	17.9	30	1 719	14
群馬県	803 030	16	1 096	2	15.1	40	1 564	17
埼玉県	2 467 236	5	950	30	24.1	7	4 628	4
千葉県	2 239 714	6	999	18	24.6	5	5 412	3
東京都	4 756 639	1	1 029	8	23.4	12	7 243	1
神奈川県	3 125 728	3	962	26	24.5	6	3 001	8
新潟県	928 927	14	1 061	4	23.6	10	1 315	22
富山県	388 737	38	969	25	20.5	21	394	45
石川県	431 058	32	1 013	11	15.2	39	530	39
福井県	289 680	42	978	22	18.8	25	549	38
山梨県	320 496	41	1 013	11	18.3	27	879	31
長野県	698 859	20	881	44	24.7	4	2 011	12
岐阜県	736 104	18	991	19	22.9	14	1 534	18
静岡県	1 395 147	10	1 012	13	21.6	17	2 097	11
愛知県	2 668 558	4	1 010	14	23.5	11	6 491	2
三重県	680 084	22	1 000	17	30.1	1	1 594	16
滋賀県	465 462	30	918	39	19.5	23	987	26
京都府	941 032	13	977	23	12.9	45	1 776	13
大阪府	3 540 725	2	1 117	1	11.8	47	4 323	5
兵庫県	2 134 072	7	1 043	6	17.4	32	2 489	9
奈良県	490 375	29	946	34	14.1	43	982	27
和歌山県	387 731	39	1 025	9	14.4	42	868	32
鳥取県	208 577	47	953	29	23.3	13	342	47
島根県	237 847	46	895	43	22.3	16	514	40
岡山県	692 825	21	971	24	26.0	3	1 025	23
広島県	963 644	12	923	37	23.9	9	1 369	21
山口県	579 760	24	1 083	3	28.4	2	1 001	24
徳島県	278 962	43	958	28	17.3	33	567	37
香川県	339 244	40	914	40	20.9	19	569	36
愛媛県	495 202	28	927	36	18.1	28	982	27
高知県	268 809	45	948	33	24.1	7	479	42
福岡県	1 879 208	9	1 016	10	22.4	15	3 910	6
佐賀県	273 178	44	869	45	17.0	36	409	44
長崎県	505 030	27	949	32	17.3	33	994	25
熊本県	582 712	23	868	46	18.0	29	622	35
大分県	415 379	35	937	35	20.6	20	851	33
宮崎県	421 894	34	1 001	16	21.5	18	1 463	19
鹿児島県	578 074	25	914	40	17.0	36	1 685	15
沖縄県	427 265	33	832	47	13.7	44	938	29

資料出所
 * 1.2 県資源循環推進課
 * 3 「一般廃棄物処理実態調査」環境省 HP
 * 4 「公害苦情調査」公害等調整委員会 HP

調査時点又は期間
 平成21年度
 平成21年度
 平成22年度

調査周期
 毎年
 毎年
 毎年



資料：「公害苦情調査」公害等調整委員会HP

リサイクル率は、全国第7位

県資源循環推進課の資料によると、平成21年度の一般廃棄物(ごみ)の総排出量は2,467,236 tで、全国第5位でした。1人1日当たりの排出量は950 gで、全国第30位でした。また、「一般廃棄物処理実態調査」によると、平成21年度のごみのリサイクル率は24.1%で、前年度より0.1ポイント低下し、全国第7位でした。

公害苦情件数は、前年度より362件減少

「公害苦情調査」によると、平成22年度の公害苦情件数は、前年度より362件減少して4,628件でした。公害の種類別(典型7公害)では、大気汚染が1,349件、以下、騒音1,115件、悪臭760件の順でした。

※表*1.2 環境省では平成17年度からごみ総排出量の定義を変更しましたが、県資源循環推進課では21年度より新定義により算出しています。

旧定義：ごみ総排出量＝収集ごみ量＋直接搬入量＋自家処理量
 新定義：ごみ総排出量＝収集ごみ量＋直接搬入量＋集団回収量

$$\text{ごみのリサイクル率} = \frac{\text{直接資源化量} + \text{中間処理後再生利用量} + \text{集団回収量}}{\text{ごみ処理量} + \text{集団回収量}} \times 100$$

※表*4の青森県、岩手県、宮城県及び福島県内の一部の値は、東日本大震災の影響により、地域で受け付けた苦情件数の報告が得られなかったため、報告を受けた地域のみ合計です。

～彩の国みどりのサポーターズクラブ～

県では、豊かな自然を次の世代へ引き継ぐために、彩の国みどりの基金を活用し、森林の保全整備や身近な緑の保全・創出など「みどりの再生」に向けて集中的に取り組んでいます。その一環として、「彩の国みどりのサポーターズクラブ」を結成しました。

このクラブは、「植樹活動や保全活動を進めていきたい・活動を知ってもらいたい・活動に参加したい・仲間を増やしたい」と考えている団体・企業・個人が自由に参加できるクラブです。植樹に必要な苗木を提供したり、会員や県の行イベントなどの情報をメールマガジンで案内するなど、会員の活動をサポートしています。一人一本植樹運動をはじめとするみどりの再生に関する県民運動が拡大していくことを目指しています。

資料：県みどり再生課HP



41 エネルギー

単 位	* 1 使用電力量・電灯		* 2 都市ガス販売量		* 3 LPガス・家庭業務用プロパンガス販売量		* 4 住宅用太陽光発電補助金交付決定件数	
	百万 kWh	順位	千 MJ	順位	t	順位	件	順位
全 国	304 230		1 416 454 260		8 663 551		187 664	
北海道	12 124	8	24 686 741	14	301 640	8	2 328	30
青森県	2 981	33	1 185 642	43	122 202	27	691	46
岩手県	2 979	34	1 466 582	41	114 637	30	2 221	31
宮城県	5 232	16	12 925 271	20	209 678	12	3 304	22
秋田県	2 438	40	2 504 175	33	75 136	37	686	47
山形県	2 671	37	2 261 910	35	85 334	34	1 030	41
福島県	4 501	21	5 148 332	28	157 222	15	3 224	24
茨城県	6 759	13	23 751 981	15	217 586	11	4 935	14
栃木県	4 672	20	15 753 225	18	100 441	31	4 818	15
群馬県	4 829	19	20 053 052	17	154 709	17	4 091	17
埼玉県	15 875	5	71 991 948	7	465 608	4	10 121	2
千葉県	13 652	7	118 579 892	5	370 926	6	7 413	8
東京都	32 760	1	241 257 681	1	793 133	1	9 228	3
神奈川県	19 756	3	145 909 937	3	672 078	3	8 507	5
新潟県	5 522	14	31 607 269	11	115 351	29	1 018	42
富山県	3 103	31	3 685 670	30	122 313	26	1 173	40
石川県	3 369	29	2 195 009	36	135 478	23	778	45
福井県	2 415	41	1 276 985	42	65 751	38	955	43
山梨県	2 129	42	3 078 507	31	49 146	45	2 114	34
長野県	5 243	15	10 232 958	23	135 990	22	5 880	11
岐阜県	4 899	18	10 799 398	22	141 506	20	4 168	16
静岡県	8 788	10	49 195 730	8	324 647	7	7 443	7
愛知県	16 957	4	128 965 464	4	693 866	2	14 147	1
三重県	4 495	22	24 725 492	13	152 244	18	1 828	19
滋賀県	3 603	27	32 376 968	10	59 713	39	2 952	28
京都府	6 768	12	41 541 105	9	77 707	36	2 784	29
大阪府	21 536	2	170 223 779	2	278 735	9	6 819	10
兵庫県	13 766	6	93 376 950	6	255 868	10	7 575	6
奈良県	3 450	28	13 389 355	19	42 097	46	2 201	32
和歌山県	2 832	36	9 765 331	24	56 937	41	1 849	36
鳥取県	1 529	47	1 020 705	45	54 792	43	788	44
島根県	1 902	46	796 716	47	53 661	44	1 558	37
岡山県	5 113	17	8 536 269	25	157 156	25	5 455	13
広島県	7 410	11	22 902 675	16	206 240	13	6 884	9
山口県	3 715	25	11 499 921	21	118 318	28	3 333	21
徳島県	2 102	43	2 028 701	37	36 221	47	1 531	38
香川県	2 669	38	2 483 476	34	124 485	25	2 132	33
愛媛県	3 639	26	1 722 950	39	128 539	24	3 095	26
高知県	1 905	45	890 283	46	58 287	40	1 452	39
福岡県	12 114	9	28 034 881	12	386 805	5	8 660	4
佐賀県	2 045	44	1 572 245	40	80 097	35	3 018	27
長崎県	3 336	30	4 259 453	29	88 718	33	3 101	25
熊本県	4 204	23	5 362 181	26	96 894	32	5 459	12
大分県	2 936	35	3 000 869	32	180 251	14	3 297	23
宮崎県	2 616	39	2 001 969	38	55 779	42	3 531	20
鹿児島県	3 900	24	5 359 930	27	152 132	19	4 072	18
沖縄県	2 991	32	1 068 697	44	137 497	21	2 019	35

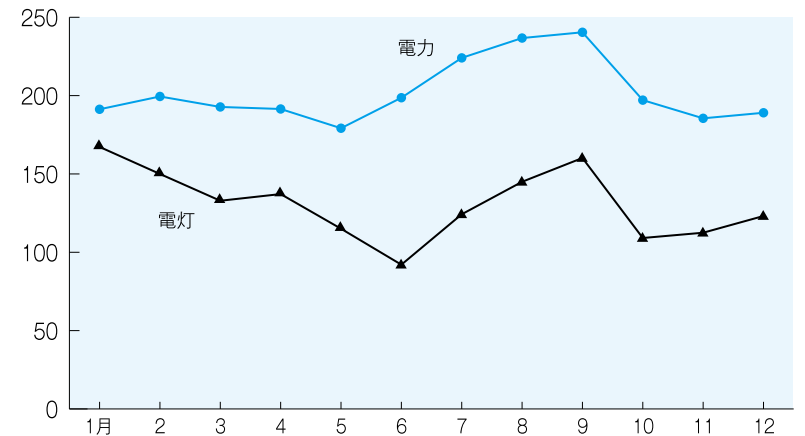
資料出所
 * 1 「電気事業便覧」(社)日本電気協会
 * 2 「ガス事業年報」資源エネルギー庁
 * 3 「LPガス資料年報」(株)石油化学新聞社
 * 4 一般社団法人 太陽光発電協会 太陽光発電普及拡大センターHP

調査時点又は期間
 平成22年度
 平成21年度
 平成21年度
 平成22年度

調査周期
 毎年
 毎年
 毎年
 毎年

月別の電灯・電力使用量 (平成22年)

(電灯・電力使用量・万MWh)



資料：東京電力(株)

都市ガスの供給区域内普及率57.2%

「電気事業便覧」によると、平成22年度の使用電力量のうち一般家庭用を中心とする電灯は、159億kWhで、全国第5位でした。

「ガス事業年報」によると、平成21年度の都市ガス販売量は720億MJで、全国第7位でした。また、平成22年3月末現在の需要家メーター取付数は1,344,671個で、メーター取付数を供給区域内一般世帯数で除した供給区域内普及率は57.2%でした。

「LPガス資料年報」によると、平成21年度の家庭業務用プロパンガスの販売量は465,608 tで、全国第4位でした。

住宅用太陽光発電補助金交付決定件数は、全国第2位

(一社)太陽光発電協会 太陽光発電普及拡大センターによると、平成22年度の住宅用太陽光発電補助金交付決定件数は10,121件で、全国第2位でした。

※表*1は、10電力会社分です。

※表*2は、一般ガス事業者分です。

～節電の例と効果～

1世帯当たりの平均電気使用量は、1か月で約400kWhですが、ちょっとした心がけでできる節電の取組として次のようなものがあります。

- ・エアコンの使用を1日1時間短縮すると…1か月で冷房なら5.0kWh、暖房なら7.2kWhの節約になります。
- ・冷蔵庫の設定温度を「強」から「中」にすると…1か月で5.1kWhの節約になります。
- ・照明の点灯時間を1日1時間短くすると…1か月で2.1kWhの節約になります (30W+38Wの丸形蛍光灯の場合)。
- ・見ていないテレビを1日1時間消すと…1か月で6.2kWhの節約になります (プラズマテレビ32インチの場合)。

資料：県温暖化対策課HP



おしえてコバトン

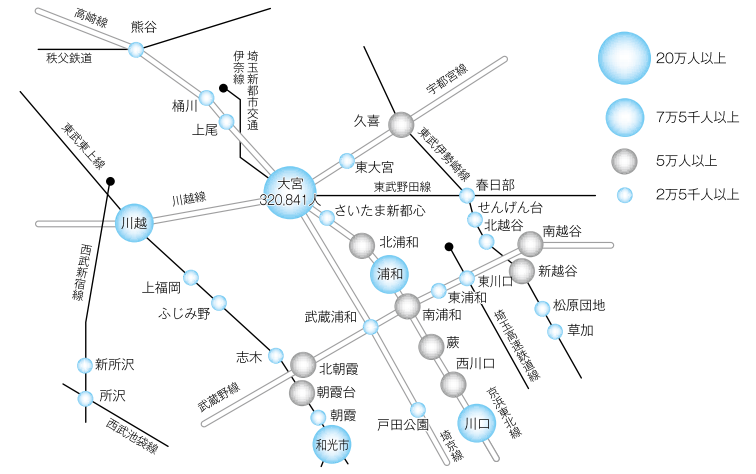
42 運輸

主な駅の1日当たりの乗車人数(平成22年度)

単 位	* 1 旅客輸送人員 (JR)		* 2 旅客輸送人員 (民鉄)		* 3 自動車旅客 輸送人員(バス)		* 4 自動車貨物 輸送トン数	
	千人	順位	千人	順位	千人	順位	千 t	順位
全 国	8 672 749.6		13 883 759.0		5 733 474		4 319 502	
北海道	125 497.2	10	215 441.0	10	289 099	5	348 066	1
青森県	12 652.2	38	3 726.1	35	58 614	27	61 336	26
岩手県	21 155.9	26	5 482.9	32	53 576	30	60 050	27
宮城県	99 871.6	14	54 090.6	14	74 545	21	101 230	14
秋田県	15 038.6	36	804.0	42	36 950	36	39 765	37
山形県	15 147.9	35	718.0	43	33 737	39	45 218	34
福島県	35 787.2	21	4 995.0	33	75 129	20	91 622	16
茨城県	92 267.2	15	31 602.5	16	152 335	10	136 254	11
栃木県	46 800.5	18	16 148.0	22	92 166	14	81 794	21
群馬県	33 323.8	24	14 641.9	24	72 555	22	85 049	19
埼玉県	588 988.4	5	601 852.3	6	204 388	9	205 159	3
千葉県	703 161.9	4	588 284.3	7	227 588	8	170 464	9
東京都	3 259 107.4	1	6 038 775.4	1	829 011	1	184 904	6
神奈川県	1 016 585.7	2	1 667 048.1	3	724 723	2	198 007	5
新潟県	59 382.4	17	3 705.0	36	91 116	15	105 422	13
富山県	19 224.6	31	15 914.8	23	29 868	42	54 255	28
石川県	19 876.5	30	3 447.0	37	40 847	34	51 539	29
福井県	10 651.6	40	4 748.0	34	33 368	40	33 616	41
山梨県	20 256.3	29	2 947.0	38	40 785	35	28 462	45
長野県	46 641.8	19	21 362.2	19	83 742	16	90 628	17
岐阜県	43 289.3	20	27 402.6	17	76 904	19	96 439	15
静岡県	123 484.8	12	39 111.0	15	116 708	12	161 376	10
愛知県	222 650.5	7	813 524.4	4	250 782	7	253 829	2
三重県	11 190.1	39	77 360.3	12	55 605	29	81 816	20
滋賀県	106 789.0	13	19 214.8	20	70 296	23	49 108	32
京都府	162 790.2	9	361 710.1	8	141 787	11	69 774	23
大阪府	725 793.3	3	2 061 456.5	2	328 163	3	204 886	4
兵庫県	399 775.1	6	618 955.2	5	258 201	6	171 887	8
奈良県	33 568.4	23	140 665.1	11	63 691	25	38 561	39
和歌山県	24 793.9	25	12 396.1	28	46 169	32	33 016	43
鳥取県	10 081.2	42	817.1	41	23 283	44	21 375	47
島根県	6 552.3	45	1 398.0	39	30 248	41	25 846	46
岡山県	62 158.8	16	5 900.2	31	61 336	26	87 413	18
広島県	123 893.6	11	66 641.7	13	108 609	13	107 046	12
山口県	34 594.4	22	247.0	44	49 282	31	51 194	30
徳島県	9 468.7	43	30.5	46	20 414	45	33 345	42
香川県	16 507.6	34	12 780.0	26	19 961	46	49 302	31
愛媛県	10 360.3	41	18 198.0	21	27 922	43	62 175	25
高知県	5 637.1	46	7 817.5	30	17 006	47	29 531	44
福岡県	199 624.0	8	242 415.5	9	326 652	4	172 749	7
佐賀県	16 833.4	33	870.3	40	34 096	38	38 101	40
長崎県	14 580.6	37	22 246.2	18	77 917	18	38 627	38
熊本県	17 626.0	32	12 600.3	27	65 125	24	65 782	24
大宮	20 287.5	28	214.0	45	44 536	33	43 153	35
大宮	8 482.6	44	-	-	36 421	37	47 790	33
鹿児島県	20 518.2	27	11 180.7	29	79 778	17	71 384	22
沖縄県	-	-	12 872.0	25	58 443	28	41 168	36

資料出所
* 1.2 「旅客地域流動調査」国土交通省HP
* 3.4 「交通関連統計資料集」国土交通省HP

調査時点又は期間
平成21年度
平成21年度
調査周期
毎年
毎年



資料：東日本旅客鉄道(株)、東武鉄道(株)、西武鉄道(株)、秩父鉄道(株)、埼玉新都市交通(株)、埼玉高速鉄道(株)

鉄道の旅客輸送は減少傾向

「旅客地域流動調査」によると、平成21年度のJR旅客輸送人員は、前年度より61万人減少して5億8,899万人(定期の旅客4億231万人、定期外の旅客1億8,668万人)でした。

また、民間鉄道の旅客輸送人員は、前年度より132万人減少して6億185万人(定期の旅客3億9,013万人、定期外の旅客2億1,172万人)でした。

東日本旅客鉄道(株)、東武鉄道(株)、西武鉄道(株)、秩父鉄道(株)、埼玉新都市交通(株)、埼玉高速鉄道(株)の各鉄道会社の資料によると、平成22年度の県内各駅の1日当たりの乗車人員は、大宮駅が320,841人と他の駅を大きく引き離して最も多く、以下、川越駅97,690人、浦和駅79,114人、川口駅78,759人でした。

「交通関連統計資料集」によると、平成21年度のバス輸送人員は、前年度より274万人減少して2億439万人でした。

また、自動車貨物輸送トン数は、前年度より642万 t 減少して2億516万 t でした。

※グラフ中、大宮、川越、久喜、熊谷、東川口の各駅の乗車人員は、複数の鉄道会社の同名駅の乗車人員を合計して算出しました。



～市町村コミュニティバスの運行状況(平成23年6月1日現在)～

県内市町村が運行に関わるバスの運行状況を、県が独自に市町村に対しアンケート調査を行って集計した結果、運行している市町村は64市町村中47市町村(73.4%)で、総路線数は214路線でした。利用者数では、22年度実績で年間約550万人が利用しました。

また、1日当たりの運行回数は466回でした。

資料：県交通政策課HP



おしえてコバン

43 通信

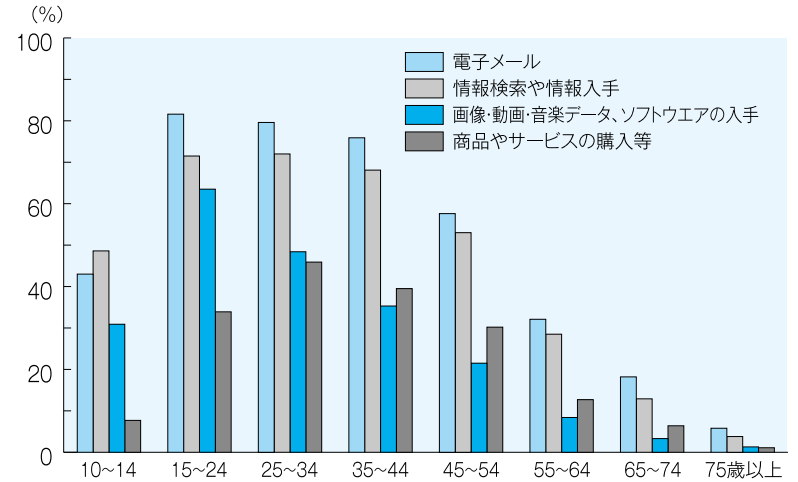
単 位	* 1 加入電話加入数		* 2 携帯電話契約数		* 3 インターネットの利用種類別行動者率 (電子メール)		* 4 ブロードバンドサービスの契約数	
	件	順位	件	順位	%	順位	契約	順位
全 国	37 917 964		112 182 922		49.1		34 933 284	
北海道	1 775 449	6	4 326 207	9	45.2	21	1 279 566	9
青森県	455 564	28	962 308	31	35.0	47	234 730	35
岩手県	408 787	29	916 639	33	36.9	43	233 463	36
宮城県	676 623	16	1 886 259	14	46.8	13	537 266	14
秋田県	346 928	34	755 192	40	35.6	46	199 748	40
山形県	316 829	40	837 237	37	36.1	44	222 348	38
福島県	577 447	17	1 468 884	22	37.6	37	366 410	22
茨城県	857 121	12	2 359 924	12	46.3	14	660 944	13
栃木県	561 372	21	1 580 549	18	45.9	20	449 542	19
群馬県	566 485	20	1 579 856	19	46.2	15	530 143	15
埼玉県	1 928 275	5	5 977 703	5	53.9	4	2 030 455	4
千葉県	1 694 712	7	5 176 941	6	54.7	3	1 776 876	6
東京都	4 425 375	1	18 246 945	1	62.4	1	5 520 913	1
神奈川県	2 670 678	3	7 982 384	3	60.8	2	3 023 990	3
新潟県	690 031	14	1 729 601	15	40.0	33	495 569	17
富山県	323 928	37	850 741	35	43.3	27	251 388	33
石川県	333 252	35	946 818	32	46.2	15	270 781	29
福井県	224 873	45	629 055	43	43.8	24	184 726	42
山梨県	272 175	41	693 545	41	44.1	22	198 208	41
長野県	678 031	15	1 648 532	17	43.6	26	500 591	16
岐阜県	570 251	19	1 694 207	16	46.0	17	467 977	18
静岡県	1 111 918	10	3 043 222	10	44.0	23	975 739	10
愛知県	1 980 666	4	6 421 892	4	50.8	9	1 999 481	5
三重県	554 662	23	1 536 920	21	48.0	11	447 179	20
滋賀県	329 830	36	1 132 718	26	51.6	8	357 657	24
京都府	777 063	13	2 231 006	13	53.3	5	759 964	11
大阪府	2 813 407	2	8 252 879	2	52.8	6	3 183 926	7
兵庫県	1 340 245	9	4 663 351	7	49.5	10	1 520 360	2
奈良県	373 721	31	1 147 371	25	51.8	7	361 364	23
和歌山県	317 912	39	793 287	39	40.8	31	239 106	34
鳥取県	170 428	47	441 219	47	40.7	32	121 969	47
島根県	236 713	44	527 144	46	38.5	36	138 838	45
岡山県	558 366	22	1 562 989	20	46.0	17	440 699	21
広島県	863 697	11	2 397 032	11	46.0	17	687 937	12
山口県	506 559	25	1 108 517	27	42.6	29	339 561	25
徳島県	242 275	43	611 338	44	43.7	25	171 384	43
香川県	323 576	38	832 167	38	42.2	30	224 031	37
愛媛県	479 170	26	1 095 749	28	43.2	28	299 303	27
高知県	270 512	42	571 243	45	36.1	44	138 027	46
福岡県	1 444 265	8	4 355 994	8	47.4	12	1 338 307	8
佐賀県	217 769	46	654 323	42	37.2	41	140 183	44
長崎県	473 869	27	1 077 617	30	37.6	37	267 953	30
熊本県	507 040	24	1 392 400	23	40.0	33	339 482	26
大分県	380 983	30	901 322	34	39.4	35	251 497	32
宮崎県	348 614	33	847 531	36	37.4	39	210 906	39
鹿児島県	575 651	18	1 254 654	24	37.2	41	289 919	28
沖縄県	364 867	32	1 079 510	29	37.3	40	252 878	31

資料出所
 * 1.2 「テレコムデータブック(TCA編)」(社)電気通信事業者協会
 * 3 「社会生活基本調査報告」総務省統計局
 * 4 総務省HP

調査時点又は期間
 平成21年度末
 平成18年10月
 平成23年3月末

調査周期
 毎年
 5年
 毎年

インターネットの利用の種類別行動者率 (平成18年)



注)利用形態の内訳は複数回答。
 資料:「社会生活基本調査報告」総務省統計局

加入(固定)電話は減少、携帯電話は年々増加

「テレコムデータブック(TCA編)」によると、平成21年度末の加入電話(固定電話)加入数は、前年度より202,378件減少して1,928,275件でした。また、携帯電話契約数は、前年度より244,584件増加して5,977,703件でした。

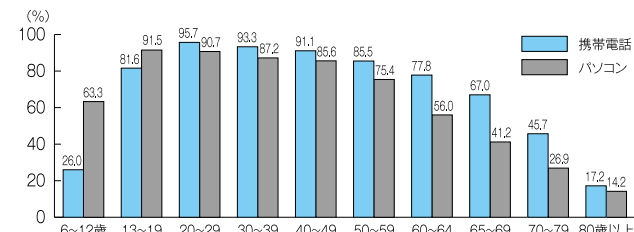
増加するインターネット利用者数

「社会生活基本調査報告」によると、平成18年のインターネット利用者数は409万1千人、行動者率は前回調査(平成13年)より13.5ポイント上昇して64.6%で、東京都(70.8%)、神奈川県(70.7%)に続き千葉県と並んで全国第3位でした。行動者率を利用の種類別みると、「電子メール」が53.9%で最も高く、次いで「情報検索及びニュース等の情報入手」が48.4%でした。

総務省によると、平成23年3月末現在のブロードバンドサービス契約数は、前年より75,413契約増加して2,030,455契約でした。

~携帯電話及びパソコンの年齢別個人利用率(平成22年末)~

携帯電話及びパソコンの年齢別個人利用率をみると、20歳未満の年齢では、パソコンの利用率が携帯電話よりも高いものの、20歳以上の年齢では、いずれも携帯電話の利用率がパソコンを上回っています。



資料:「平成22年通信利用動向調査」総務省



44 消防

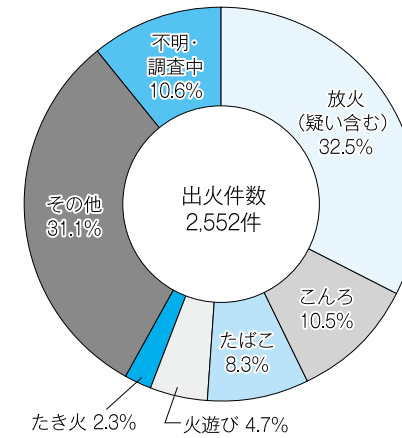
原因別出火件数構成比 (平成22年)

単 位	* 1 出火件数		* 2 火災損害額		* 3 救急自動車 救急出動件数		* 4 救助活動件数	
	件	順位	千円	順位	件	順位	件	順位
全 国	46 620		101 762 173		5 463 682		55 031	
北海道	2 125	8	4 361 307	6	219 421	9	1 768	6
青森県	527	28	1 416 802	21	44 311	34	387	31
岩手県	449	31	904 996	35	45 312	33	269	44
宮城県	953	13	1 737 480	18	91 440	14	279	42
秋田県	332	40	995 776	32	38 063	38	312	35
山形県	362	38	1 164 845	25	40 642	36	310	36
福島県	730	21	1 438 357	20	75 296	22	693	14
茨城県	1 257	10	15 025 633	1	109 295	13	911	13
栃木県	875	14	2 094 143	14	71 456	23	662	15
群馬県	802	16	2 002 042	16	77 780	19	538	22
埼玉県	2 552	5	4 840 701	4	288 691	4	2 357	4
千葉県	2 288	7	3 833 391	8	268 683	6	2 348	5
東京都	5 130	1	6 361 868	2	706 312	1	19 472	1
神奈川県	2 561	4	5 311 402	3	393 834	3	2 754	3
新潟県	638	22	2 462 309	13	90 118	15	611	18
富山県	221	47	530 577	44	35 899	41	304	37
石川県	288	44	685 608	40	37 433	39	322	33
福井県	224	46	652 121	41	25 092	46	320	34
山梨県	369	37	715 346	39	35 270	42	284	41
長野県	801	18	1 474 448	19	82 337	16	583	19
岐阜県	802	16	2 033 688	15	76 795	20	662	15
静岡県	1 223	11	4 678 341	5	144 693	10	1 106	10
愛知県	2 821	3	3 753 475	10	288 460	5	1 696	7
三重県	771	19	1 304 789	23	78 971	17	551	21
滋賀県	485	29	930 010	33	53 414	30	386	32
京都府	554	27	1 075 359	30	120 845	11	993	12
大阪府	3 081	2	3 783 643	9	500 218	2	3 543	2
兵庫県	2 325	6	4 239 320	7	237 493	7	1 696	7
奈良県	435	34	1 147 839	27	58 853	28	487	25
和歌山県	351	39	769 516	37	46 831	32	468	26
鳥取県	244	45	480 490	45	21 959	47	234	47
島根県	379	36	652 028	42	26 331	45	285	40
岡山県	806	15	2 835 519	12	77 814	18	570	20
広島県	1 189	12	1 347 537	22	117 657	12	1 007	11
山口県	634	23	926 317	34	63 453	25	632	17
徳島県	297	43	426 433	46	29 132	44	271	43
香川県	435	34	1 141 694	28	43 885	35	241	46
愛媛県	575	25	1 104 284	29	60 636	27	399	27
高知県	315	42	571 500	43	36 939	40	249	45
福岡県	1 767	9	3 256 033	11	220 309	8	1 292	9
佐賀県	327	41	1 159 403	26	31 874	43	393	29
長崎県	568	26	722 686	38	56 824	29	299	38
熊本県	617	24	1 920 589	17	75 772	21	518	23
大分県	448	32	851 135	36	46 898	31	398	28
宮崎県	483	30	1 035 826	31	38 850	37	294	39
鹿児島県	761	20	1 184 749	24	69 551	24	488	24
沖縄県	443	33	420 818	47	62 540	26	389	30

資料出所
* 1~4 「消防白書」消防庁HP

調査時点又は期間
平成22年

調査周期
毎年



資料：県消防防災課HP

出火件数は前年より減少

「消防白書」によると、平成22年の出火件数は、前年より109件減少して2,552件でした。出火件数のうち、建物出火の1,397件が全体の54.7%と最も多く、車両出火の238件がこれに続いています。また、火災によるり災世帯数は1,246世帯、り災人員数は3,286人でした。

火災損害額は48億4,070万円で、このうち建物の損害額が45億594万円 (焼損棟数2,009棟)で全体の93.1%を占めています。

県消防防災課によると、平成22年の原因別出火件数は、放火(放火の疑い含む)の830件が全体の32.5%(前年33.3%)を占めて最も多く、以下、こんろ269件、たばこ211件の順でした。

救急出動件数は前年より増加

「消防白書」によると、平成22年の救急自動車による救急出動件数は、前年より25,193件増加して288,691件でした。出動原因としては、急病が178,477件と最も多く、以下、一般負傷37,396件、交通事故33,999件、転院搬送19,979件でした。

また、救助活動件数は2,357件で、その救助活動による救助人員は1,684人でした。救助活動件数で最も多いのは火災の775件(救助人員112人)で、以下、交通事故537件(同624人)、建物等による事故457件(同400人)でした。

~幼年消防クラブ・少年消防クラブ~

県内の消防本部では、ふだん学校や家庭において学ぶ機会の少ない防火・防災の意識を醸成するとともに、家庭からの火災を予防することを目的として、防火・防災教室(消防士による講話等)などを行う、幼年消防クラブ・少年消防クラブの活動支援を行っています。

火災発生原因のひとつである「火遊びによる火災」は、平成22年で121件発生しています。幼年・少年期のうちに火の怖さを学ぶことも、子供の火遊びによる火災を防止するために有効です。



資料：県消防防災課HP

おしえてコバトン

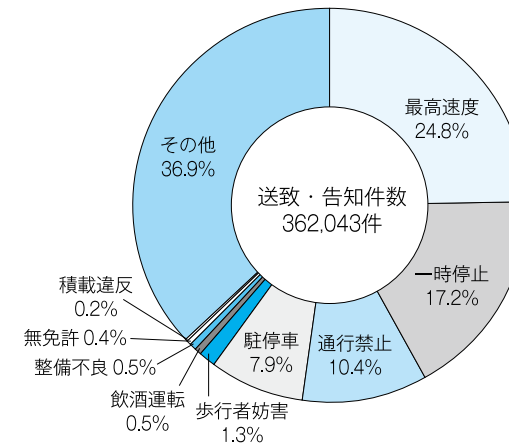
45 交通事故

単 位	* 1 交通事故発生件数		* 2 交通事故死者数		* 3 運転免許保有者数		* 4 保有自動車数	
	件	順位	人	順位	人	順位	両	順位
全 国	725 773		4 863		81 010 246		78 660 773	
北海道	18 088	11	215	1	3 370 348	8	3 641 066	6
青森県	5 842	39	66	28	863 237	30	979 632	28
岩手県	4 097	42	67	27	842 112	32	978 655	29
宮城県	10 420	24	80	24	1 502 902	15	1 565 545	19
秋田県	3 206	45	60	33	692 843	38	810 484	38
山形県	7 393	31	51	39	779 140	34	913 507	32
福島県	10 665	22	112	17	1 322 334	20	1 567 029	18
茨城県	16 246	14	205	3	2 036 373	11	2 463 202	11
栃木県	10 053	25	146	12	1 387 357	19	1 652 324	16
群馬県	19 080	10	94	22	1 402 524	18	1 729 013	15
埼玉県	39 581	6	198	5	4 544 555	5	3 913 007	4
千葉県	25 914	9	184	8	3 933 748	6	3 468 653	7
東京都	55 014	1	215	1	7 460 353	1	4 430 557	2
神奈川県	41 815	5	182	9	5 495 854	2	3 941 894	3
新潟県	10 011	26	126	16	1 577 859	14	1 805 354	14
富山県	5 694	40	58	34	743 220	37	876 190	35
石川県	6 037	38	64	31	764 452	36	870 758	36
福井県	3 624	44	42	45	537 913	43	643 130	43
山梨県	6 283	37	49	41	594 606	41	727 683	41
長野県	10 743	21	110	18	1 482 942	16	1 846 565	12
岐阜県	11 779	17	133	14	1 413 209	17	1 649 384	17
静岡県	36 751	7	165	11	2 559 278	10	2 807 428	10
愛知県	51 161	3	197	6	4 922 234	4	4 959 294	1
三重県	11 275	18	135	13	1 257 187	22	1 462 885	21
滋賀県	9 023	28	78	25	934 586	27	977 264	30
京都府	14 775	15	96	20	1 585 565	13	1 326 722	22
大阪府	51 292	2	201	4	5 042 047	3	3 685 474	5
兵庫県	36 594	8	192	7	3 438 415	7	2 947 615	9
奈良県	6 515	34	45	43	907 488	28	820 265	37
和歌山県	6 903	33	52	36	687 908	39	739 024	40
鳥取県	1 812	47	42	45	384 246	47	452 979	47
島根県	1 977	46	31	47	463 948	46	540 274	46
岡山県	16 821	12	109	19	1 287 271	21	1 480 053	20
広島県	16 546	13	127	15	1 845 747	12	1 829 747	13
山口県	7 709	30	96	20	937 603	26	1 052 137	25
徳島県	5 382	41	44	44	533 537	44	607 835	44
香川県	11 795	16	65	29	678 140	40	756 868	39
愛媛県	8 188	29	64	31	939 137	25	995 467	26
高知県	3 692	43	52	36	498 478	45	553 148	45
福岡県	44 445	4	170	10	3 191 277	9	3 202 804	8
佐賀県	9 038	27	58	34	563 604	42	649 949	42
長崎県	7 301	32	52	36	860 473	31	917 336	31
熊本県	10 830	20	78	25	1 188 819	23	1 315 789	23
大分県	6 331	36	65	29	779 524	33	892 163	34
宮崎県	11 000	19	51	39	767 193	35	911 522	33
鹿児島県	10 531	23	94	22	1 127 653	24	1 313 047	24
沖縄県	6 501	35	47	42	881 007	29	990 052	27

資料出所
 * 1,2 「平成22年の犯罪」警察庁HP
 * 3 「運転免許統計」警察庁HP
 * 4 「交通関連統計資料集」国土交通省HP

調査時点又は期間
 平成22年 毎年
 平成22年12月末 毎年
 平成23年3月31日 毎年

道路交通法違反行為別の送致・告知件数構成比(車両等の違反)(平成22年)



資料：「平成22年の犯罪」警察庁HP

増加傾向にある交通事故件数

「平成22年の犯罪」及び「交通年鑑」によると、平成22年に発生した交通事故(人身事故)は39,581件で、死者198人、負傷者48,247人でした。前年より事故件数は892件増加、死者は9人減少、負傷者は1,101人増加しましたが、死者数は全国で5番目に多い結果となりました。

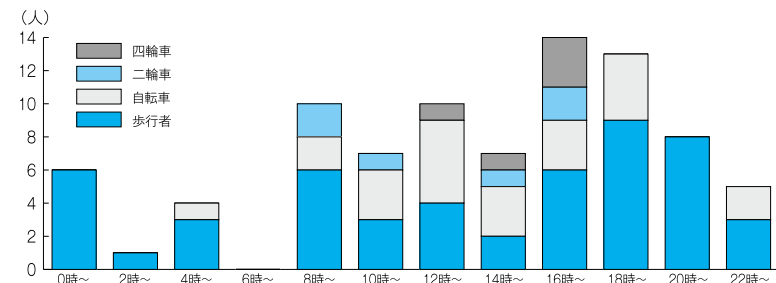
また、道路交通法違反による送致・告知件数(車両等の違反)は362,043件(点数切符を除く)で、そのうち最も多いのは最高速度違反の89,870件で全体の24.8%を占め、次いで一時停止違反62,122件、通行禁止違反37,757件でした。

保有自動車数は増加

「運転免許統計」によると、平成22年12月末現在の運転免許保有者数は、前年より23,241人増加して4,544,555人でした。男女の割合をみると、男性が57.7%、女性が42.3%で、その差は年々縮小しています。

「交通関連統計資料集」によると、平成23年3月31日現在の保有自動車数は、前年より6,608台増加して3,913,007台でした。

◆高齢者の時間帯別・状態別交通事故死者数(平成23年)◆



資料：県警察本部交通企画課

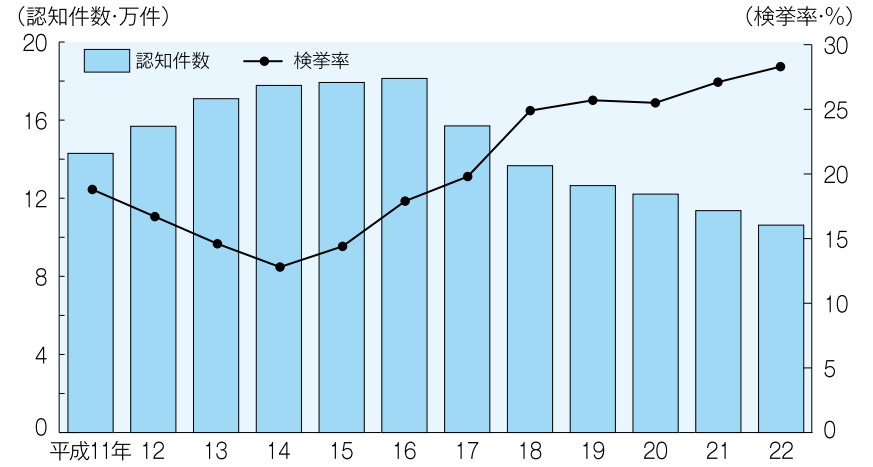
46 犯罪

刑法犯認知件数と検挙率

単 位	* 1 刑法犯認知件数		* 2 刑法犯検挙件数		* 3 刑法犯検挙人員		* 4 刑法犯検挙率	
	件	順位	件	順位	人	順位	%	順位
全 国	1 585 856		497 356		322 620		31.4	
北海道	51 226	9	16 083	9	10 563	9	31.4	35
青森県	9 943	32	3 892	34	2 998	30	39.1	17
岩手県	7 400	41	3 990	33	1 997	40	53.9	2
宮城県	24 614	15	7 518	19	4 549	19	30.5	37
秋田県	5 407	45	2 994	42	1 964	41	55.4	1
山形県	7 179	42	3 636	35	2 645	34	50.6	6
福島県	19 427	21	6 250	24	4 193	21	32.2	31
茨城県	41 312	11	12 422	10	6 643	13	30.1	38
栃木県	23 500	17	8 239	15	5 410	15	35.1	25
群馬県	22 211	19	11 078	12	5 717	14	49.9	7
埼玉県	106 228	4	30 048	4	19 296	4	28.3	41
千葉県	92 325	6	24 918	7	14 988	8	27.0	45
東京都	195 970	1	58 227	1	44 548	1	29.7	39
神奈川県	93 369	5	35 964	3	23 304	2	38.5	20
新潟県	21 227	20	7 783	17	5 337	16	36.7	22
富山県	7 679	40	2 428	47	1 762	43	31.6	32
石川県	8 293	37	2 905	43	2 051	39	35.0	26
福井県	6 058	44	2 788	44	1 450	45	46.0	9
山梨県	7 919	39	3 046	40	1 721	44	38.5	20
長野県	18 295	22	6 589	22	4 537	20	36.0	23
岐阜県	25 017	14	7 903	16	3 776	24	31.6	32
静岡県	39 451	12	12 410	11	8 406	10	31.5	34
愛知県	128 173	3	36 169	2	18 100	5	28.2	42
三重県	23 425	18	6 480	23	3 320	26	27.7	44
滋賀県	15 501	24	4 326	31	2 705	33	27.9	43
京都府	42 258	10	10 944	13	8 147	11	25.9	46
大阪府	164 096	2	29 841	5	22 715	3	18.2	47
兵庫県	80 860	7	23 624	8	16 913	6	29.2	40
奈良県	14 444	26	7 602	18	3 168	27	52.6	4
和歌山県	12 125	29	4 168	32	2 721	32	34.4	30
鳥取県	5 189	46	2 682	46	1 336	46	51.7	5
島根県	5 116	47	2 751	45	1 180	47	53.8	3
岡山県	24 097	16	7 372	20	4 619	17	30.6	36
広島県	28 335	13	9 920	14	7 571	12	35.0	26
山口県	12 360	28	5 290	26	3 809	23	42.8	13
徳島県	7 108	43	3 145	39	1 827	42	44.2	10
香川県	10 432	31	4 616	28	2 810	31	44.2	10
愛媛県	16 672	23	5 944	25	3 601	25	35.7	24
高知県	8 689	36	3 008	41	2 080	38	34.6	29
福岡県	78 809	8	27 595	6	16 286	7	35.0	26
佐賀県	8 138	38	3 464	37	2 211	36	42.6	14
長崎県	8 950	33	4 343	30	3 159	28	48.5	8
熊本県	15 309	25	6 597	21	4 607	18	43.1	12
大分県	8 691	35	3 357	38	2 162	37	38.6	19
宮崎県	8 750	34	3 476	36	2 464	35	39.7	15
鹿児島県	11 392	30	4 514	29	3 097	29	39.6	16
沖縄県	12 887	27	5 017	27	4 157	22	38.9	18

資料出所
*1~4「犯罪統計資料」警察庁HP

調査時点又は期間
平成22年
調査周期
毎年



資料：「犯罪統計」県警察本部

刑法犯認知件数は6年連続で減少

「犯罪統計」によると、平成22年の刑法犯認知件数（道路上の交通事故に係る業務上（重）過失致死傷罪及び危険運転致死傷罪を除く）は、前年より7,404件少ない106,228件で、6年連続の減少となりました。

罪種別にみると、窃盗犯が82,157件（前年比5,966件減）で全体の77.3%を占め、以下、粗暴犯3,606件、知能犯1,942件、風俗犯621件、凶悪犯517件でした。

刑法犯検挙率は28.3%

刑法犯検挙件数は、前年より798件減少して30,048件でした。

罪種別にみると、窃盗犯が19,182件で全体の63.8%を占め、以下、粗暴犯2,540件、知能犯1,018件、風俗犯423件、凶悪犯397件でした。

検挙人員は、前年より49人減少して19,296人でした。そのうち少年（20歳未満）は、6,862人でした。

検挙率は、前年より1.2ポイント上昇して28.3%でした。

$$\text{検挙率} = \frac{\text{検挙件数(解決件数を含む)}}{\text{認知件数}} \times 100$$

～数字でみる県警察～

(平成23年4月1日現在)				(平成23年3月31日現在)	
警察官	11,287人	交番・駐在所	373所	ヘリコプター	3機
一般職員	1,111人	パトカー	約507台	警備艇	1隻
警察署	39署	白バイ	約187台	囃託警察犬	70頭
信号機設置数	9,944基				

(平成22年)					
110番件数	701,035件	拾得物	564,439件	拾得現金	約7億1,038万円



おしえてコバトン

◆統計からみた震災の影響◆

平成23年3月に発生した東日本大震災は、日本経済に大きな打撃を与えており、復旧・復興には相当時間がかかると予測されています。埼玉県内では、地震による建物や設備、商品の損傷といった直接の被害はそれほど多くなかったようですが、計画停電や物流の混乱等の間接的な影響が大きかったようです。製造業では、東北地方から原材料を入手できなくなったという話もあります。

毎月実施している統計調査の結果からも、埼玉県内の震災の影響を見ることができます。

まず、平成23年3月の鉱工業指数（製造業・鉱業の生産等の動きを示す統計）ですが、生産は80.5で前月比▲11.6%、出荷は74.8で前月比▲14.1%と大幅に下落しました。生産、出荷ともに、1か月の下落幅としては過去最大となりました。

生産が下落した主な業種としては、輸送機械工業（自動車など）が前月比▲52.6%、化学工業（医薬品など）が前月比▲18.8%となっています。

【鉱工業指数】

生産	80.5	（前月比 ▲11.6%、前年同月比 ▲13.4%）
出荷	74.8	（前月比 ▲14.1%、前年同月比 ▲16.8%）

商業では、百貨店の販売額は、前年同月比▲21.5%と大きく減少しましたが、スーパーでは逆に1.9%の増加となっており、明暗が分かれました。

なお、小売業全体（全国）では、前年同月比▲8.3%となっており、特に自動車小売業では▲32.7%と大幅に減少しました。

大型小売店販売額	826 億円	（前年同月比 ▲ 4.6%）
うち百貨店	189 億円	（前年同月比 ▲ 21.5%）
うちスーパー	637 億円	（前年同月比 1.9%）

震災の影響は家計調査でも分かります。勤労者世帯の消費支出（さいたま市）は、前年同月比▲17.9%となりました。

自粛や計画停電、交通途絶等が原因と思われるが、飲酒代（前年同月比▲89.8%）、有料道路料金（同▲77.1%）、鉄道運賃（同▲50.6%）などが、大きく減少しました。

逆に、もち、即席めん、カップめん、ミネラルウォーターなど非常時用の食品を中心に、購入量が大幅に増加したものもあります。特に自転車の購入が増えたことが埼玉県の特徴です。震災を機にスポーツ通勤者が増えたとも考えられます。